特1
2022

国立国会図書館　タイトル『大和本草紀聞』　請求記号 特1-2022

ガラス使用

一一五

大和本草紀聞

○自序中

折類　當作拆　二枚一行下ヨリ三字目

○目録中

○陽鐩　當作燧　三枚裏末行下ヨリ五字目

○山蔥　當作天台蒜　四枚リ六行

○常帰　當作當　五枚表八行目

○石菖蒲　當削去　冂末行

○裙帶菜　當作蔕　八表四行目

○酸漿艸　當作酢　八表八行目

○沙苑蒺藜　當作蒺　九表四行目

○地衣草　此名當入于艾納下　九裏初行

○和活力油　當作柚　十裏五行

○幺麼之材　當作麽　冂四行上ヨリ十二字目　表

○饅頭　蒸餅　當上下　四枚裏初行目

○壺盧　當作壺　冂八行目上ヨリ三字目

○胡蝶花　當作蝴　六裏四行目

○螺黶艸　當作黶　七枚表六行目

○石苣　當作苣　冂末行

○水引草　當削去　冂九行目

○

○五百二十八種　當作三十二種　十表三行目

○都夷香　此名當加于猕猴桃下　冂七行目

白井氏藏書

国立国会図書館　タイトル『大和本草紀聞』　請求記号 特1-2022

ガラス使用

○五加木　此名當入于枸杞下　十表三行目　○擲　當作擲　十二ヲ八行
○楸　當作楸樹　同十行目　○枸栗　當作鈎栗　十二リ二行目
○鯊魚　當作鯊　十三ヲ八行
○大口魚　奥ニハ作杏魚　東医宝鑑ニハ大口魚ニ作ル朝鮮ノ各ヲリ杏字ニモ作ル杏作字
ナリ字書ニナシ故ニ音モナシ　十三表九行之下
凡百二十三種　當作二種　十四ヲ四行　○水虫　二十種　當作二十一種　同六行
○足マトヒ　此ノ下ニ當加シマキムシノ名ヲ　同八行　○蜜　當作蜂蜜　十四ウ二行
○蛄蟲　當作蛄　同八行　○凡八十四種　當作五種　同十行
○小鳥　三十六種　當作七種　十五リ九行　○コマトリノ上ニハリノ名ヲ加可シ　十六ヲ四行
○黄鳥　當作黄鳥　同九行　○鷩雉　當作ト雉　同九行
○凡九十八種　當作九種　同ウ一行　○野叉落刹　當作ト鬼殺　十七ヲ初行
○六十二種　當作六種　同二行
○論本草書之中

特1—2022

○三十一巻名證類本草上之朝廷改名大觀本草ナリ　二十五リ三行目
哲宗元祐年中経史證美備急本草唐慎微作ルコレヲ略メ今證美本
草ト云　集賢孫公ト云者校考シテ大觀本草ト云大觀二年ニ校考スル
ナリ宋徽宗ノ時ナリ其後政和年中ニ集メ考スルヲ政和本草ト云段々ト移リ
凡證美本草七種ホドアルナリ
○陳扶搖花鏡　當作秘伝花鏡　二十六ヲ九行　○花史　當作花史左編　同十行
○潛確類書　當作潛確居ノ　廿六ハ八行　○彙苑　當作彙苑詳注　同九行
○百川學海説郛　以上ノ書名ミナ百川學海ノ中ニアリ故ニ重出スルニ不及一方ヲ出シテヲキヲ
済ミタルヿナリ　同九行
○園史　廿七ヲ十行　當作汝南園史　本書ニハ陪テ全本ニナ園史ヲ園史ニ作ル訛リナリ
○蔡襄茶録　當作察襄ノ　廿八ヲ十行
○共ニ禽経アリ　廿八リ二行　共ニノ二字削ルベキナリ禽経ハ本師曠カ作ナリ張華ハコノ禽経
ノ註ヲシタルナリ

国立国会図書館　タイトル『大和本草紀聞』　請求記号 特1-2022
ガラス使用

○國居士魚品　當作邏國居士魚品　八ノ三行目
○魚經　當作養魚經　八ノ三行目　○隰土ヲ忌　當作濕土　九ノ四行
○隰艸類　當作濕中ノ　九ノ七行下同シ　○酸醬　畜作ノ漿　三十表初行
○海蒂　當作海蒂　三十ノ四行　○陵薑　同上　海水產ニ湧リ淡水之產ニ
○蛇　當作ノ蛇　三十ノ四行　○稌米　三十ノ五行　コレハ稉ノ美名イヌニテヨシ
○倫物理中○蠶ヲ生ズルカ如シ　三十二ノ九行　木中生ル虫ノ繭名ヨリ書ヲ云ヒ地ムシハ漢名蜎蠉ヨシ
キリムシトハ地ムシノコトニアラズ、三十二ノ九行　○蜎蠉
○蛤蚧　當作蛤蚧　三十三ノ三行　○鵙　ヨクカヘルヨリ鵙ハモズノコトナリ　三十三ノ七行
○蜻蛉　當作蜻蛉　三十四ノ七行　○徃鳴　當作注鳴　噭ニ鳴クヨリ三十四ノ三行
○勞鳴　當作胸鳴　同上　○山蟇　當作瑞香　三十五ノ八行
○橐　當作桃葉珊瑚　三十五ノ九行　アハキトアラキトノ條リニテ書ヲ先モチリ
○蜻蛉ノ胡蝶トテリ云ハ誤リ蜻蛉ハ胡蝶ニハエラス　三十六ノ二行

○蟇　ヲカトリヨシ惡シ　コナレバヲヲラクナリ　五十六ノ四行
○蠶　同上　○烏喙　當烏　三十七ノ三行
○御瑠代醉　當加編字　三十九ノ八行　○秈米　人ノ作ルヲ米ト　四十ノ七行
○番薯　リウキウイモ　四十ノ九行　○鳳尾蕉　ソテツ　同上
○擒　當作扁柏　四十ノ八行　○鯉魚　唐俗ニ鉛錘魚ト云　四十ノ六行
○鰄魚　當作松魚　四十ノ九行　當作馬　四十ノ九行
○無兎鴿　當作兎　四十一ノ一行　○對鳥　當作翡翠子　四十一ノ三行
○擎陽花　當作仙花　四十一ノ四　○天竺花　當作百西金　京ニテハ千ハナト云　四十一ノ五
○蔽後鰯　當作松魚　四十四ノ四　○葛藤花　當作青花魚　四十四ノ四行
○隱岐鮑　當作石決明　同上　○同防鰆　當作鯖州夏朴　四十五ノ八行
○櫛　當作柿　四十五ノ同上　○朴　當作檍　和名ヨリ漢名ナシ　四十五ノ同上
○擒　當作扁柏　同九行　○猴棗　陸ニナキモノヨリ　鮓答ノ美　四十七ノ二行
○蠻羅禰花　當作漢蔘　四十七ノ六　○和佐美　漢名　山蒿菜ナリ　同拾行

国立国会図書館　タイトル『大和本草紀聞』　請求記号 特1-2022
ガラス使用

○ハジ　漆　麥　四十八リ三　○ダマノ木　漢名　天竺桂　日上
○女貞木　去惡し　水蠟樹し　四十八リ四行
○白蠟　當作蟲白ー　四十八リ五行

○漢名未詳類之中

○鶉豆　漢名班豆ノ一種し　四十八リ七　○隱元豆　京三トウサヤ　上云　漢名菜豆　日上
○ホトギス　漢名　油点草　日八行　○福壽草　漢名　側金盞花　日上
○三波丁子　漢名　萬壽菊　日九行　○白粉花（ヲシロイバナノ）　漢名　紫茉莉　日上
○艸牡丹　漢名　草芍菜　日上　○熊谷　漢名　鬼督郵ノ一種　日上
○一花艸　萬分ナ　漢名　菟葵　四十九ヲ　○正木カヅラ　漢名　扶芳藤　日上
○スベメ瓜　漢名　馬般児　日上　○高蓼　漢名　大蓼　日上
○シホデ　牛尾菜　漢名し　日上　○松フサ　漢名　一種ノ北五味子　日上
○ジコ　漢名　頭髮菜　日上　○海蘿（フノリ）　漢名　鹿角菜　日上
○沼ヨモギ　漢名　蔞蒿　日上　○河薀（ハモヒリ）　漢名　陟釐　日上

○觀音ナ　通名　吉祥ナ　上云　日上　○モジズリ　漢名　綾草　日上
○張良草　漢名　大呉風ナ　日上　○樊噲ナ　日上
○コイ草　漢名　博落廻　日上　○シヽヤキナ　コイ草ト同物ナリ
○シヽカクレユリ　漢名　蕎麦葉貝母　日上　○濱木綿（ハマユウ）　漢名　父殊蘭　日上
○大根ナ　漢名　水楊梅　日上　○尓許草（ニコ）　漢名　石長生　日上
○小十妻（サハメ）　漢名　山茨　○バブテコブラ　漢名　茹草　日上
○ハクリ　漢名　獨頭蘭ノ一種　日　○岩藤　漢名　胡豆　日上
○岩蓮花　漢名　瓦松ノ一種　日上　○ノコギリ草　漢名　蕎　日上
○猫ナ　漢名　白頭翁　日上　○サギノナ　漢名　鶴子草ノ一種　日
○ヤウウ艸　漢名　糊菊　日上　○カヤツリ草　漢名　莎草　日リ
○丁子艸　漢名　虎尾ナ麥　日上　○鐵線花　漢名　鉄線蓮　日上
○ソバ菜　漢名　蕎花　日上　○杉菜　漢名　向荊　日上
○土筆　漢名　筆頭菜　日上　○シトギリ草　漢名　小連翹　日上

国立国会図書館　タイトル『大和本草紀聞』　請求記号 特1-2022
ガラス使用

○唐柿 漢名 六月柿 日上 ○金菌 漢名 黄蕈 日上
○松露 漢名 地胥 日上 ○鼠菌 漢名 掃帚菰 日上
○針菌 漢名 松毛菌 日上 ○舞菌 漢名 重菰 日上
○ヒメじ 漢名 五蕈 日上 ○トノチノ木 漢名 七葉樹 日上
○白丁花 漢名 六月雪 日上 ○梅モドキ 漢名 落霜紅 日上
○モクヲク 漢名 石瓜 日上 ○ヒヤクヒ 漢名 圓柿 日上
○ヒムロ 漢名 絲杉 日上 ○烏足 漢名 羊婆奶 日上
○下ツ毛 漢名 繡線菊 日上 ○ウツ木 漢名 溲疏 日上
○雪柿 漢名 珍珠花 日上 ○鈴掛 漢名 麻葉繡毬 日上
○八手木 漢名 金剛纂 日上 ○チヒヤ木 漢名 斉墩樹 日上
○三マタ 漢名 結香 日上 ○タブ木 漢名 天竺桂 日上
○ヒバ 漢名 粗榧 日上 ○ハツノ木 漢名 槲 日上
○大樫 漢名 天竺桂ノ一種 日上 ○一ラ木 漢名 菩提樹ノ一種

○玉紫 漢名 女兒茶 日上 ○ハイ木 漢名 山礬 日上
○トビラ 漢名 海桐花 日上 ○カヒヒ 莞花ノ一種 五十ヲ
○イチヒク 漢名 天仙菓 日上 ○黒モじ 漢名 釣樟 日上
○フクラ 漢名 冬青 日上 ○濱モクヲク 漢名 水木犀 日上
○胡麻木 漢名 土欒樹 日上 ○ケラク木 漢名 椅 日上
○喉紅鳥 漢名 拙老婆 日上 ○ヒハ 漢名 金絲雀 日上
○イヌカ 漢名 交喙 日上 ○四十ガラ 漢名 白頰鳥 日上
○モヅ 漢名 伯勞 日上 ○獨子鳥 漢名 麻雞 日上
○ルリ 漢名 竹林鳥 日上 ○カブト虫 漢名 飛生蟲 日上
○松蟲 漢名 金琵琶 日上 ○鈴蟲 漢名 金鐘兒 日上
○ツダマキ 漢名 蔭雞 日上 ○カマツカ 漢名 鯊魚 日上
○ゴリ 漢名 石伏魚 日上 ○カジカ 漢名 杜父魚 日上
○ワタカ 漢名 石斑魚 日上 ○ウガイ 漢名 黄鯛魚 日上

国立国会図書館　タイトル『大和本草紀聞』　請求記号 特1-2022
ガラス使用

○モツヽキ　當作コモツヽキニ　五十裏
○ブリ　漢名　海鰱　同上　○エツ　漢名　鱗魚　同上
○フカ　漢名　鯊魚　同カセフカ　同名　○コチ　漢名　牛尾魚　同上
○ホヤ　漢名　石勃卒　同上　○アラ　漢名　鰍魚　同上
○キスゴ　漢名　鼠頭魚　同上　○タチ魚　漢名　帯魚　同上
○メクワシヤ　漢名　指甲螺　同上　○チシヤコ　漢名　扁螺　同上
○木葉石　漢名　木葉石　化石圧云　同上　○スクモ　漢名　膏風　同上
○黒土　漢名　黒石脂　同上　○ミカキ石　白堊之一種ナリ　同上
○菊銘石　漢名　海花石　同上

○本朝書所載物名ノ文字中
○商實（イチヂビ）　商　今モイチヂビ云　五十表七行　○
○日本古書及世俗强訓倭名中
○西國木（サンコヘイ）　即チ漢名ナリ　訛ニ奨　五十三ヲ三行　○地榆（ノコギリカサ）　訛リニテラズ　同四行

○棟參　揀擇　上等之人參之義　欤　欤ノ字削テヨシ疑ニ不及シ　三十ヲ一行
○漢潦　當作潢潦　三十リ二　○吊桶　カヘリ点ヲ削リテヨシ吊桶　二字ニテツ
ルベノコナリ　三十リ三行
○針家磨鑪　當作鑢　ハリヤノセンダノコナリ　三十リ七行
○銀紫胡　今別ニ〻〻ト云ナリ古方ノ銀紫胡ハ常紫胡ナリ　三十リ八行
○麻雀　ヲヤスヾメノコナリ　三十一ヲ二　○黄雀　コスヾメ　三十一リ四
○絳礬皂礬絳礬ノ二字削リ云ルヽ　三十一リ四
○名絳礬紅　當作絳礬礬紅　三十一リ四行目
○郎山査　當作山査子　三十一リ十　○乃　當作及　三十二ヲ一行
○絲綿煮汁ノ下ニ　切並相同ノ四字ヲ加テ佳シ本草ニ此ノ四字アリ　三十二ヲ一行
○白膠　鹿角膠ナリ　三十二ヲ上　○鶉鴿　トウバト　同上七行
○魚狗　カワセミ　同七行　○栗鼠　リス　同八行
○猪腎　内腎ヽ　同八行目　○漏蘆　當作盧　三十二リ五

国立国会図書館　タイトル『大和本草紀聞』　請求記号 特1-2022
ガラス使用

○登々岐 ツリガ子ニヒビレイナリ 羊乳根 ハルニレビン 三十三ノ四行
○雞腿児 當作根 三十三ノ五 ○鋪 當作鋪 三十三ノ七
○枸橘 カラタチ 三十三ノ八 ○一種與枸橘相似而非者 ヨシ王瓜ノ品类ニテ実大ク葉前ニ生ジ刺リ云々
○国俗用苦荬希非也 カニウイモノナリ 四ノ五行
○以杜若子 當作山姜 八十三ウガナリ 四ノ六行 今テ山姜ノ実ヲ陽リテ痢ヤムヲ
ニ非ス 杜若子ハヤブミャウガイナリ 故ニ山姜ト改ム佳ナリ
○薄何 當作荷 三十四ノ十行目 ○蚫等ト云 蚫ハ和名ナリ 三十五ノ五
○幕蘇 當作幕薪 三十六ノ三行 ○豆油 ヨウユニテ見ハ非ニ油ハ別ニ法アリ
セウユ醤油ニテ漢名ナリ 本條醤ノ条下ニアリ
○立當 養イユクトキハ立當キウト訓ス 倭書ニ立當チクト訓ス 四十ノ七行
○檀 ヒツジグサレト訓ス 四十一ノ八 ○膝 ヒツジ 當作李東垣 四十二ノ七行
○渭陳久者 當作須陳久者 四十二ノ九 ○鼠宝甕 當作大陳中ニアリ又陳良シ故ニ八新ノ中
○経徼 當作梅雨 四十三ノ九 ○槐花 六

○南仏 アコダトニテ名モアリ漢ノ訓ス 四ノ二行 ○荇 アサ
○麦蕾 レウ 漢ノ訓ス 四ノ七行 ○蘿蔔 ヒメジ
○瘦 アキ 漢ノ訓ス 四ノ八行 ○鶫 アンカウ
○梅首鶏 ハンニヒ 漢若ニアラズ 四ノ東二行目
○大和本草巻之二
論用茉之中
○以繁蔵 ゼンマイナリ 四ノ七行 ○雞腿児 漢ノ訓ス 四ノ八行
○凡諸艸木昆虫、魚鳥名ニ五ノ四行目 ○若発汁茉 當作汗 九ノ四行 ○頓服之 當作頓 十ノ三行首
○薬 當作蕊 二四ノ初行下ニ
○本草捃相集解ニ時珍曰捃相子大如胡椒ト云ヘリ云々ノ本書ニ引テ論ス然ニ
本時珍ノ説モ誤リ捃相ノ大ハ二大豆ノ大サト云ヘリ説集ナリ和ノ書ニ捃相子ヲ
ト云書アリコレニ精シ 茨實ノ大サハ無患子ノ大ナリ 十五表ニアリ

国立国会図書館　タイトル『大和本草紀聞』　請求記号 特1-2022
ガラス使用

○蠶生　當作秀　十六卷二行　○雞多服飼
同　十八ノ五行
○刅研　研　ヤゲンニテスルナリ九ウ七ノ
○漢　本書ニ粗末ニ入ノ名トシ訛リテ　漢ノ末ト通ス細目征美參考之漢末
相通ス漢ノ末ナリ二十表初行
○雞腿兒　當ノ根ニ作ル　三十六表一行　○不経之說　當作說　二十七表二行
○茉名雜疑　○粉草ト云ハ本草ニ言ヘル汾州之産上品ト云故ニ上品ヲ汾草ト云
後世如ノ字ヲ粉草ト云今日本ノ茅戸根ヲテ耳中ノ粉ニナリ久ヲ粉草ト云誤リ
ニ實ニ言ノ說ノ時珍ノ說ト異ナリ時珍云耳中今人惟以大径寸而結四角者
為佳得之粉草ト云ニ實ニ言ト異ナリ三十九表
○古方ニ青木香ト云ハ誤ノ木香ナリ　三十九表
○肥皂皂角　肥皂ノ細目ニモ別条アリ同物ニアラス　二十九ノ
○苦楝子　當作ノ楝子　三十九ノ五　○石蓮肉　蓮実甚タ硬如石ノ云　三十九ノ九
○蓮実到秋　當作至　豆　○石蓮肉　當作子　三十九ノ九十

六不入良ナリ　四十二ノ十行　○五梅
○青　ラスベト云ハ悪キヨリ白錫ノ又ハ青金ト云ナリ又ハ青ノ
處ハ五色ノ内ニ故ニ白ノ又ハ青ト云ハ白ニ非ス故ニ青ノ又ハト云ハ又モ
○瑠璃　水晶ノ誤言ナリ　四十三ノ五　○五辛　常ノ白梅ノ如ナリ　四十二ノ八
○又曰五葷　コレハ通家ニ忌ム五辛ノ如ナリ　四十四ノ二行
○乳麹草　御形トカノ和ノ本名ナリ乳麹草ハ本名ニ非ス故ニ一字不足ス故ニ
○繁蔞　當作縷　ハコベトカ本名ナリ然ニ民書ニ非ス故ニ一字不足ス故ニ
ナリコノ事ヨリハコベト云名アリ　四十四ノ四
○田平子　佛坐ノ名ニ入ハアヒキヨリ田平子ハ別ノ一種小ナルモノ　四十四ノ四行
○菘　蔓菁ニ作ルガヨキヨリ菘ハ別物ナリ　四十四ノ四
○猴　手長丸ト訓スルガ能シ孔子家語ノ猴ハテナガサルノコトシ　四十四ノ九行
○五宮　當作五官　四十五ノ四　○榮衛　當作營衛　四十六ノ二行

国立国会図書館　タイトル『大和本草紀聞』　請求記号 特1-2022
ガラス使用

大和本草巻之三紀聞

水類

水　ミツ　惣名ナリ　○井泉　イトノ水ナリ　出甕ノ甕ノ字儒門事

親作梵字　○無根水　時珍食物本草註云弔桶下滴コレナリ

○新汲水　イドノクミ立テヲ云ナリ　○井華水　将且時初メテ汲タル水ナリ

ナリ　○労水　流水ヲトリテ杓ニテ千萬上下スルヲ云ナリ本草集解ニクワシ

○臘雪水　寒中ノ雪ニツナリ　○池沼水　イケノ水ナリ

本書ニ何水ニ泡アリ毒アルベシト云コレハ水ウルシト云ニノ泡ノ塊リデキルモノ毒アリコレニ乙

ルト合ヨリ小瘡ヲ生スルコアリ　食物本草一巻ハ本綱目ノ通ニテノ水品美ヲアゲタリ

氷筋当作氷筋　巻目ニハ天下ノ名水ヲ載タリ　本書ニ類書纂要ヲ引キテ云　氷筍ト云ハ俗ニ

云ツラヽノコナリ和名ニ垂氷ヒ云ヘ　氷筋ト云ヘ

熱湯　ヒエユ　アツユ　○生熟湯　ヨキガゲンニウヌメル湯ナリ

陰陽水モ同ヿナリ

外 湯 居家必用 又医書大全 和剤局方ニ等ニアリ

コレハ茶トハ別ナリ 香煎ナドヲ入レテ飲ムヲ湯ト云ナリ

浴湯 湯ニ入ルヿヲ云ナリ 本書ニ説佳ナリ

温泉 摂州有馬山ナドハ古ヨリアリ今ハ諸国ニ多シ 香川多仲茶選ノ後編ヲ多ク名ヲ載タリ 国々ニヨリテ温泉ニモ色々ノ切ルモノナリ 有馬湯ニハ ウヲノ香ヒナシト云 浴湯ノ説 本書ニ論セリ説佳ナリ 日光ノ辺ニ塩湯ト云アリ 塩水湯ト云ヘ 相州熱湯ハ熱海ト書クナリ 湯ノ字ニスルハ誤リヽ

外 火井 博物志 温泉ヨリ火ノ光ヲ云 又アツキ温泉ヲモ火井ト云ナリ 越中 三山肥前

温泉嶽ナド温泉甚アツキナリ

琅琊代醉編ニ云 火井ハ火スヂナリ 日本ニモ越後妙法寺村ニ人家ニ火ノ出ル所アリ 石ヲ上ニヲキ石ノ正中ニ穴ヲ一ツ明ケテアリ 火ノ入ルトキニツケギヲ以テコノ穴ニテ火ヲヨブト火出ナリ 竹筒立テアリ其ノ口ニ井ヲヽヲ以テ火ヲ呼ナリ 越後州七不思議ノ其ノ一ヽコレ火スヂヽ 代醉編ニ云モノ如此モノヲ云レ見ヘタリ

雹 シヽアラレ 俗ニ云 ヒヨウ

雹雷鳴トキ降クモナリミナ丸クナリ三角二角ノモ有リ堅モノヽ陰陽不順ノ気ヨリシテ降ルモノナリ

和品 苦潮 ニガシヲ 苦潮ト云ガ和名ナリ故ニ外ノ字入用ニナシ 細目ニナキ漢名ニ外ノ字ヲ冒附スコノモノ和名故ニ削ルナリ コレ和品ノ印ニシテヨシ コレ雹雨水海水ニ交リテクサリ死モナリ毒アリト云フナリ

石脳油　臭水（クソウズ）油トモイヒ

越後蒲原郡黒川村ニモアリ池ヨリ水ト共ニ油ノ湧キ出ル処モアリ又底水中ニカリカタマトイフ草ヲ以テ其油ヲ吸ヒ付ケテ取リ水ト一処ニ入レテ久故ニ件草ニ油ヲ又ハワラヒドラ以テ油ヲトリ唐三人雉尾ニテ上ヨリ今ハ桶ニ水油共ニ入レ桶下ニ火ノ明ケテ置キ水ニ真火ヨリ按ク桶ニ入ル水ハ下ニ下リ油ハ上ニ浮ク〳〵ト油色醤油ノ色如キモノニシテ臭キサフノ香気アリニ良久サレ燈油ニ用ユ下品ノモノハ京ニ来リアリ越ハニ紙燭ヲコモラセテ水油ヲ入ル其火ヲ付ケヨリ燃エ煙ヲトリテ墨ニ作ルコレヲ燈煙墨トイフ

日本紀天智天皇七年越国献燃土ヲ燃水トアリコノ燃土ト云ハ石炭ノ美ナル江州ニモアリ　スクモトヨリコレ漢名ヲ高見ケリ　本書ニヲノヅカ上ノ油ト云モノハ此ノ油ニモアラン上ノ油ト云モノハ又ノ土字ニ作レリ又ニ両陽雛廻　又ニ石漆ノ二字ナシ故ニヲノヅカ上ニ有字アリテ高奴県有石脂水ト本条見ケリ故ニ今有ノ字ヲ加ヘテヨシ

地漿　チシヤウ

沢山ニモノアリ山近辺ノ国傍ニ赤黄色ニテ光リアルモノアリ田中ニモアルモノアリ

本綱目石脳油附录ニ地漿ヲ載ス

鹽膽水　レンタンスイ　レンノニガリ

塩ヲ焼キテ精ヲトリ流シ出ルモノヲニガリガ上品ナリ電ノ中ニアリ

塩　レン

海塩アリ海水ヲ煎ジテ製ス播州赤穂コレノ上品ニテ名物ナリ○井塩日本ニモアリ井中ヨリ出ルヲ煎ジテ製ス○崖塩　コレ明礬ノ如ク山ノ岸ニ吹キ出ルモノナリ○鹹塩　築前ニアリ塩土ヲトリ海中水ヲカケ土ヲ中ヲトリテ砂ノ上ニ霜柱ノヤウニ塩吹出スナリ此ヲトリテ製ス本綱目塩ノ条ニ精ノ并ス故ニ茲ニ略ス

外 文武火　唐詩鼓吹註　火類

ツヨクモナリヨワキモキ火ヲ云ナリ

文火　ヤワラカナ火ナリ　武火　ハゲシキ火ナリ本書説佳ナリ

薪火　タキ火　水ヲタキテ茶ヲ煎スルヿヲ云ナリ本書説良

灸火　針灸聚英　ヤイトノ火

石ヨリ火ヲトルハ悪シト云本書ニ云水精鏡ハ扁ク中高クシタルモノナリコレニテ日ノ火ヲトルナリテンガン鏡ノ美ノモノナリコレニテ火ヲトリテ用ユルナリ常ノ鏡ニテモ火ノトラレルモノナリ

外 木石火　木或ハ石ヨリ出ル火ヲ云ナリ石ト石トニテモ火出ルナリ金ト金トニテハ余リ火ノ出ルモノナリ本ト木ト雑ノヤウニ木ヲ作リテモムトヨリ火出ルモノナリコレスレ合テ火ノ出ルモノ

本書ニモ云通リニテ本中ニ火ノアルニ非ス程子外書ノ文ヲ引キテ云故ニ外卯アリ

炭火　スミ火　本書ニ櫟ノ炭火ト云櫟ハ ノ又ギノコナリ炭ニシタルヲ櫟炭ト云ナリ池田炭ノコナリ本ト摂州一倉ト云處ヲ焼キタル炭ヲ池田ニ出ル池田ヨリ諸處ニ賣ハルナリ故ニ池田ノ産トス本産所ハ一倉ナリコノ池田炭ハキリテ見ニ切リ口ニ菊坐ノ紋アルモノナリ ノ又ギニテヤキタルモノナリ

本書ニ云焞炭火　コレハケシ炭ノコナリ火ニシテモ甚軟ナルモノナリ又云堅木ノ炭ト云タルハ カシノ木ニテ製シタル炭ノコナリコレハ大気烈ケシキモノナリ又本書ニ白炭ト云タルハ枝炭イナリコレハワヒナドニテコレヲヘルト云ナリワヒハ木堅キモノナリ

燈火　本綱目ニアリ故ニ外ノ字削リ去ルナリ　トモシ火

本書ニ云荏ト云ハエコマ油ナリ綿花子ト云ハワタザネノ油ノ樫子カヤノ油ナリ土油ト云ハソウヅ油ナリ其外魚油モアルナリ又本書ニ又ハデト云ハ五倍子ノ木ナリ　ダモノ

国立国会図書館　タイトル『大和本草紀聞』　請求記号 特1-2022　ガラス使用

木ト云ハ　ヤゴ肉桂漢名天竺桂ト云本草ニアリ樟ト云ハ久楠ノ非ナリ漢名ハ樟ト云同
本書油目ニアリ蝋燭ハ女貞木ニヨギラズ水蠟樹ヲモ上ルナリ虫蝋ト云ニテ虫ノ巣ナリ
日本ニ會津蝋ノ上品ト云ヒモイボタヲ取リト雖ト云ヘリ
本書ニ燈花ヲモ玉サレトヲ沈リナリ燈花ハトモシ火ノ花ナリ漢名ヲ蜻蜓眼ト云

和品
夜有光物类　　コレ本書ニ云モノ和物ナリ故ニ外ニ出ス

諸水共ニ朽木ニ入ト光リアルモアリイカ甲肉共ニ生ノトキハ光アリ魚肉モ光アリ潮水
モ勿論光リアリ夜光リアルモノハ皆多キモノナリ

澤中之陽燄　　本書ニ云通リ油目ニアルモコレナリ下野室八嶋ノ畑ノ类ナ
ニ今ハ島モ澤カマチニ煙立ストニテ

鬼火　　キツネ火ノ类ナリ　李油目ニ野外鬼燐ト云ナリ火ノ色青色ナルモノ

本書ニ引ニ云沈存中筆談ノ楊州有一珠ト大其行如飛ト云　火ダマノ事ナリ
同本書ニ云　遠光ナシ云々ハ　ヒカリモノニテナリ天ノ飛フモノナリ本書ニ本草ニ所謂
陳血之燐光ト云々ハ死人ノ血ノモエルヲ云ニテナリ脇ニ腐葵ノ気ヲ以ヲモエ
ルモノナリ

三昧之火　　本草ニアリ　コレハ佛ノ心中ヨリ大悲ノ体ヲヌケ出ヲアリ大藏一覧ニ
記セリ如来胸中ニ三昧之火随事而発遊出棺外ト漸ヲ荼毘ス云

金玉土石部

金　　コガネ　五色ニウケテ云ノ金ハ黄ガネナリ唐ニテ黄金ト云ヒ心ナリ
日本書紀ニ礦ト云ハマブ　アラカネナリ云ウス黒ノ元石ノ中ニ銀色ノ細キ点アルモノヲレシ
砕キニスリニ取ト銀ノ七ナリ○又　卯子金ト云ハ　細末ノ金ノ名ナリ筵ノ引手ノ如キ

国立国会図書館　タイトル『大和本草紀聞』　請求記号 特1-2022
ガラス使用

形モ仏正中ヒキシテアルモヨリ細ノ巻キ丸筋アリ今図書ノ印子金ハ図誤リ多シ
又山金ト云ハ山ヨリ出ル金ノ名ナリトゾ尺ニ文リモナキ小塊ノ真金ト云ヘリ
又本書ニ柱海塵衝志ノ5キテ云生金ト云、砂金ノ5ヲ
リテ丸ク5ニ5淘リテトルモノヲ云リ円 鉄尾ト云ハ5ヲコノ5ヌケ5ヲ唐ニテ砂金ノ小丸モノ
鉄金ト云リ5ヲコノ5ヌノ如キ細小ノ砂金ト云心ニテ小希如鉄尾ト云ル丸モノナリ

銀

白カ子 キシ 色白キ故ニ白カ子トイフ
ヨラカテノ名ノ細末ノ陶リ出シニ取モチリ血然トハリカ子ノヨウニ工中ニアルニアラレハ得セスキ
モノニ非スコレヲ人金山ニテ銀ノトゲト云本草ニコレヲ老翁鏡トイヘリ又銀ノ丸ヒラシ
時珍ニ耳美希曰鏡ト本書ニコノ文ヲ出スト鏡ニ作リテ穴ハ作リ故改テ佑鏡ニテシ

鈆石

俗ニ云 しんケン 和テ云ニシケウト唐テモ眞ノ鈆トハ異ナリ唐ニ
黄色ノ銀アリコノ黄銀ヨリ稀物ニ和名ニシケウト云ハ黄銅ナリ トノシン人ニテ
製シテ色ノ付ケ丸モヨリ本ハ赤ガ子ヨリ黄銅ト云ハ濱名ヨリ倘目ニアリ

硃砂

今云 辰砂ヨリ 上品ノ朱砂ヲ云心ニテ辰砂ト云辰州名ヨリ辰州ノ
モ上品故ニ本書ニ本名丹砂ト云別ニ黄丹ヨリ不可混ト云黄丹ト云ハ辰砂ヲ焼キ
黄ニスルモヨリ名ヲ追熬ヲモ云通リ白本ニモ舶来ニ朱シヌリテ色ノ付ケテ来ルヲアリニハ
先ト云リテ用ユルナリ

金星礦石 青礦石 舶来ヨリ上品

近年和ニ産多ク出ヨリ金星礦石ト云ハ同物ヨリ本書ニ二物ト云ハ非ヨリ口手火ニヤ
ソト金色皇現コレヨリ焼ク中ハ黒ノメ銀色ノ星ヨリ口ト銀白生ガ金星ニテルモノ
唐ヨリ生ル礦石ノ中ニ金色ノモノ入レニ来スコトアリコレハ偽物ヨリ

和品

石膽 コレハ和名ヨリ 石ノクソ ワクノ石
備陰ノ奴可郡ニヨリ名物ヨリ諸

国立国会図書館　タイトル『大和本草紀聞』　請求記号 特1-2022
ガラス使用

国ニモアリ阿蘭陀ヨリモ来ル　おうぶりしと云アリ里人横ニ白キ筋アリ白キ處軟ケリ
ワスノヤウニテリテ取ルニモチ故ニ石ノワストモイヒリコレハ　漢名　石絨　事物紺珠ニ云

蛇含石　　俗呼アリヤキモノ土ノホトノ大サヨリ大キハ八九分モアリカゾカニヨウイモ
実ノ如ク鉄赤ク光如ノ重キモノ疣アリ並ビ附ノ金ノヤウナモノチリワルト正中ニ白クスベ
如ノ光リアリ之蛇含石トイヒ居ノモノ自然銅ノ次テ偽物ナリコレハウリテギ筋アリテ金
色ヨリ外色ハ同ニチリコレ偽物ナリ

方解石　　方解石ハ日本諸州ニアリ上品下品アリ三ナ白キ石ヨリ又茶色モアリ白キニ
又半通ルモノアリ又半砕ノニ皆四角ニ丸モノチリ茶店ノ如テ寒水石ニヨク似タリコレハ薄
下寒水石ハ誤ノ名ヨリ名ケキモノナリ

空青　　本書ニハコレヲ以テ石美ナリト云ヒ色ノ石ノ美ノ名ヨリ名ケタルモノナリ
モチリ漢名　扁青ト云ハ中実ノ連珠ニ丸モノヲ云紺青ハ和名ヨリ本書ニ紺青ハ和名ヨリ紺
最上ナリトヨリ抓リシ紺青ト云モノ、最上ガ空青ヨリ空青ヲ得カタ
キモノナリ今秩田阿尼堂山ヨリ出ル紺青モコノ処ヨリ出ケリ緑青ノ石緑ニ書ケリ
二名並ビ漢名ナリ本草ニ見エテモノ鑑臭屋ニ云山名ロノセウイナリ
本書ニ一種花紺青ト云、硝石ノ如テ製スルトヨリ滴子ニテアレノ工夫モチ光
アリテ中ニ色ヨリ美キ倫具ニ用ヒリ粗キ物ニテ作リ次モト見エケリ

外
花斂石　大明一統志　大明一統志ニ花斂石、大理府ノ南平縣ニ出ル石ナリ白地ニ青黒
アリ大理石ヨリ細ニ白地ニ青黒ノ紋アリ山水ナドノ画ノヤウニ見エ
ルモノアリ又禽獣ノ図ノ如モノアリ硯ナドニスルヨリ黒玉ノリガンモノニ云倉石ニ大理石ニ云
今湯ニ大林石ト云処ニ長希鳥ト云海岸ニ屏風岩ト
云アリ岩ハ茶色ニ軟カニシテ土ノヤウナリ名ノ如シ鳴鼓ノ砥石ヨリ和ラカリ〈ダトヨリ〉名

国立国会図書館　タイトル『大和本草紀聞』　請求記号 特1-2022
ガラス使用

モノナリ〳〵ソノ中ニ色々ノモノアリ木葉アリ魚形アリ人物形モアリ鳥ノ形モアリ勲(エボシ)ナドノ形モアリ
倭ニ書スル如ク皆美ワラリコレモ先モヤウアルニヨリテ花飯石ノ類アリ本條ト同物ニハ非ズ
雑ニモアリ馬脳ニモ色〳〵形アリ本條ト別物ナリ

和品
木ノ葉石　コレハ石ヲワルト中ニ木葉ノ形アルモノナリ諸国ニアリ色黒色アリ
ドコニモアリテ中ニ木葉ノ形アルモノナリ葉箱子細ニアルヨリ色々ノ木葉交ルモアリ国ニヨリ木葉
スケアトバカリモアリ又イクツニワリテモ同葉ノアルモノアリ會津羽黒山ノ麓等ニ多シ大
宮司ノ屯ノアトニアル石ノ堅キ石ナリ火ウケ石ニアラズ
出ル所諸州ニ色〳〵アルモノナリ唐ニモ木葉石アリ　偃蹇(エンケン)ト云ニ木葉石ノ一
種ノ云石ナリ漢名ニモ木葉石ト云名アリ故ニ李氏モ漢名ニモ佳ナラン

和品
菊花石　海中石ナリ海辺多ク有ルモノナリ紫白ノ菊ノ如ニツモリアリ故アラキアリコレハ
唐松ノアレトモ形コマキノ菊ノ花石ト云ニヨリ本ト浮石(カルイシ)ノ変ニテ石菖ナドヨリ生ジテ水ノ引ヨキモノナリ廣東新語ニ海石ノ條下ニ海花石ト云アリ和ノ菊花石ト同物ナリ故ニ漢名ヲ付ケタレバ海花石ト云ノ名先ツ充ルモノナリ

和品
スリモ　近江ノ名物ナリ本朝本紀ニ越後国献燃土ト云ハ即チコノスリモノナリ石炭ヲ堀ルヤウニシテ堀ルモノナリ近江ニ国野(アス)洲郡老蘇村観音寺村ト三處ニアリ今ハ一ツモトヨリコレラ皆以テ行水湯ノワスレナリ其ヲ燃ルモノナリ然ニ此奥気ノ倉物ハ今ガメキモノナリ又甲賀郡石部ニアリ蒲生郡西福村ト云處上田村ト云処此西村ニモホルナリコレハ濃名ハ尋凡ト云江南通志ニ見タリ

石炭　イシベシ　モエ石　イワキ
コレハ長ク木ノナキ山積ノ凡山ノモノナリ長州カラ掘リ出スナリ長州ヨリ本トヨリコレモ金山(アナ)ヘ向ヒテ

国立国会図書館　タイトル『大和本草紀聞』　請求記号 特1-2022
ガラス使用

山三陽ノホリ横ニモトウノカリラ取ルモノヲ扁ニ石炭ヲ柱ノ旁ニ殘シテヲキ出ルヨキニヅシ
ヲト採リテ売ルヨリ得ル多シトヲリトニ石炭ノヤメ炭ノ如ク多重キモノヲ薬前ニテナマ石ヒ
トシテニ里メ光ルモノ上品ヲリ伊賀江州四野ニモアリ江州ハ下品ヲリ北甲ニモ茶色ノ帯
ルモアリ下品ニ伊賀ニ石炭ヲ ウニトニ ウニモ上中下ヲリ六通リホドアルテ黒キ光
リアルモノヲ採テ飯ニメニアルニ良佳ニ コレヲ燃スニヨノモユモエヌトキ水ヲカケルトコノ燃ルモノ
ヲ良臭気アリ山ニテ返ヤキノコレヲヤケバ臭気軽シ一度燒キ究カラニモ京ニアルカ
メズニヨリモカケモノニ生ノ石炭ハナラヌヲヨリ火持ツヲリ
前ノ石炭ヲ 炭乾漆トニテ用ユアリ和方ニ里虎ノ方書ニアル乾漆ハ七
ウルニイナリコレニ石山灰ヲ六ケテヨク偽ルヲリ

黏
黒土　　土色石脂ノ中ノ黒　　石脂ヲリ洲山科東ニウシノウト云ヲリ
コレニアリ今ハ深ク外ニ處ニ浜山ヲリ　貴舟坂高辺ニモアリ水平處ニ黒キ
土アリヨリ取リテ乾ス黒クテモノニ細長クカタメテキレテ墨ト石筆ニアリヨリ李ヤ

石炭ノ集解ニ云石墨ニガヲノモノナラレト本書ニ見リコレ非リ
石炭ノ集解ニ云石黒ハ石炭ノ名ニ石炭ノ水ニ漫レヲ書ヲカヲイツマリモ落ヌモノ
ヲ故ニ石黒ト云名アリ本条ノモノハ大キニ異ヲリ

外
金剛鑽　典籍便覧　本条ハ本草ニヲノ名ナシ典籍便覧ニヲノ名出タリコレハギヤマコレモト
ニモヲリ一名円書ニ金剛砂ト云又本書ニ云 河内国金剛山下ヨリ出ヲトニ云モハコレハ
和名ニ金剛砂ヲリ和漢名円シテ尼河内ヨリ出ルモノ金剛鑽ト云ハ別物ヲリ本書
ニ同物ニシテハ訛ヲリ金剛石トアリ典籍ニ金剛鑽ト同
物ニ河内州ヨリ出ルモハ漢名ニ 合玉砂ト云ヲリ本草細目青玉ノ附条ヲリ
典籍便覧ニ碾玉砂トシテ漢和円名異物ニ可弁別ヲリ

外
焼朱石　西陽雑俎　西陽雑俎十巻 樵采 乾国ニ普戸砒玉、倉庫
為大所焼其中穀米樵布于今尚存ト云云

国立国会図書館　タイトル『大和本草紀聞』　請求記号 特1-2022
ガラス使用

ヤゴメ石ともいう諸国にあり本草に云通り伯州汗(せう)入郡にもあり又河内にしき山采尾と云處あり二社あり二社の下より出あり采ノ燒ケル如きにて松永彈正ノ乞ハ稂の置し跡より出傳ノ時石にあらず盧ノ采ノ炭にまぢりあるにもあり又飯ノ形にまぢりて石ト化したるにもあり

鉛粉

本書作鉛當作鉛也　鉛セウノ音にて鉄ノ字ニ充ル

ヲシロイ　茅店ニ賣　價ノ五ト至り　輕粉ノ下ニ出ス

テコノシロイヲ古ヲシロイと云ハ唐ノ方書ニ胡粉ト云ハ皆コノシロイノ事ニ侘ス唐ノ方書ニ胡粉ト云ハ皆コノシロイノ事ニ侘ス書ル所モ同シ仍テ此方ニヨリテ粉上字ニ充ル采粉ニテ充ルモコレハ其ノ方ニヨリ別レルモノニ又カヒガラヲ燒キテ水飛シたるヲ蛤粉ト云外科ニセルシサレハコノシロイニテ充ルスト白キカビニテキたりコノ粉ヲトリ出スモノ鉛粉ヲ後ニハナマリ畫ルモノ有唐書ニ水粉ト書ル是ヨリ云ハ鉛粉ノ事ナリ又和書ニ水粉ト云ハ蕎粉ノ事ナリ同名異物ニ可有別シ又和ニ胡粉ト云ヲ介ノ作ル貝ノ類ノ事ナリ

和ノ胡粉ト云ニ上品下品アリ上品ノモヲ畫胡粉ト云コレハ蛤粉ニテ製スルモノナリ本別物ナリ漢名ノ胡粉ト不可混淆ナリ

硫黄

イワウ　山燒ル處ニアルモノナリ山燒ル處ニ硫黄ノ気ニテ其他ニモ又温泉アルモノ東國南國ニアリ硫黄ノ気ニテ温泉嶽ヨリ高山アリ雲仙嶽ヒニアリ故ニ硫黄ノ気ニテ温泉処ニヨリ雲仙嶽ニ發湯ヂコクアリ此処ニ硫黄多シ湯ハ皆硫黄アリ中夏ニハ硫黄サナシ日本ヨリ渡ルノ唐ニテ舶上硫黄或ハ舶硫黄ナトヨ云回春ニ其ノ外方書ニ見ヘリ日本ノ産ノ上品ナトヨリ品美多シ本草細目ニ二條ニ別テ石硫黄　石硫青石硫赤ナト云ヲ通ハヲ云多角ヨリ云モノコレリ赤ハウノ同ノ赤シアルモノニ此二品上品ヨリ下品ノ色青シツケニ用モノコレリ此石硫青ヨリ熬テ温泉ノ湯ノ黄ハ硫ヲ硫黄トイルトコロナリ

国立国会図書館　タイトル『大和本草紀聞』　請求記号 特1-2022
ガラス使用

水晶

即チ石英ノ全キモノハ外ハ角ニテ切リタルガ如ク頭黎ハ天然ノ七宝ノ一ツ水晶モ仏家ニ貴ビ用ユ尼七宝内ニテモ頗ル秘ガ即チ水晶ナルベシ

砂山ニアルモアリ小キ砂中ニ生ズ即チ石英ノ花ノ始ハ皆水ノ凝結ノ塊リノ透明ニテ上品ノ下ニ透徹セズ上品ハ硝子（ビードロ）ノ如シ念珠ニスルモ上品ノ水晶ヲ自然ノモノヲ石英ト云ヒテ通ハ是ニ名ク処カ水晶ト云シ本上物ニモ二條ニ分チ出ズハ混リ九ニ似タリ

愛宕山ニハ小キモ生ズ丹波ノ方ニ多シ江州ニモアリ鏡山ニ上山田上山ナドニアリ江州沸山ニ多キテ白向ノ産上品ヲ驚キヲ上品ト里キモノ多シスキ通ルモ空ナリ皆孔長クスキ角ニリ先キ鋭ル孔ヲスル下ハ石ニ附テ生ズ向ニ首尾倶ニ鋭孔アリ雫テ本書ニ天晴ノ日時水精ヲヨクスリアヘテ白向テ火ヲトルトキハ云ヒ水晶ニテ切リ輪ノ火ヲ取ルヲヨシトス通リノ水晶ヲ以テ光ノ移ルヲ火ヲ取ルト書ケリ是ヲ三ツ火ニ用ルナリ唐モ同シ鏡ニモ火ノトラルモアリ

日本ニ茶キ水晶ナシ紅ヲビ赤キモ未ダ紅如シ名物トスル程ノ其全ノ色ハ皆白本ニモアリ

砥石　アワセド

礪石モ細目ニ見エタリアラトノコトリ及物ノ初メテノ二用ルアラトナリ鳴瀧ノ産上品ナリコレハ口ニワリドトリ清閑寺砥ト丹波砥ハ庖丁砥ナリ對馬砥ハ上品ナリ漆メリ名節ノ研ルニ用ルナリコレハ對馬海辺ヨリ細キ石ナリ石内ニ応多ク内ニ見入リテアリ此ヲ出ス仁ハ砥ト云ヒ漢名ハ雞肝石ト云軟耕条ヨリ粗キ砥ニ用ル本書ニ對馬砥一名アラトト云ハ偽リ礪石ニアラス上野砥ト云ハ即細キヨリ己砥ノ内ヨリ此ヲ出ス砥ハ針屋ニ用ル細カナル砥ナリ

日本水精ノコト本草細目時珍説ニモ倭国多ク水精ヲ産ス本書ニ雷壽日ク礼ニモ四本水精ノコト載ツ本書ニ云鑿斫（サクセツ）ト云ハ目ガチノコトリ水晶ニテ作ルモ上品ナリ又硝子ニテモ作ルナリコノ法ハ唐ニテモ明時ヨリ初テ紅毛ヨリ伝リテ作ル上品ヨリ今ハ日本ニモ偽リテ多ク製スルナリ鑿斫名留壽四ク礼ニ出タリ本書ニ留壽四ク礼ノ条引ケリ

国立国会図書館　タイトル『大和本草紀聞』　請求記号 特1-2022
ガラス使用

越前ニ常慶寺ト云アリ〻ノ寺ヨリ出リ云泥リテ心ヤワラケン寺ト云
名倉砥ハ三河地名ヨリ刀劔ヲ磨ク〻ニ用ユ硬砥(カタリ)ト砥ハ伊予ヨリ出ルヨリ〻レハアラ
ナリ本書ニ云内リモリアヲギ或ハ鬱カキサビ白砥ハ引砥スリ砥コレソ
器刀劔ヲヨグニ用ユ砥ヨリ又肥前天草ヨリ出ルハアマノサ砥ト云コレハ上品ノアラ
トヨリ萌黄色ニ茶色筋アリ木目ノ如シ硯モ用ユ波ノ文アルモアリコレアラト
上品ヨリ目ニマカヌルモアリ

砒石

コレハ俗云ヒノウ石ナリ本ト中国信州ヨリ出ツ故ニ信石ト云又分ツ
テ陰石ナドニ人言ト云ヨリ火ニテヤキヲ粉トシ砒霜ト云ヤケハ毒ノ
ヨリ今ハ舶来モ本書ニモ云那須殊ノ殺生石ハ毒石ヨリ砒石ヲ磐石カ
未詳ヨリ根州山中ニ凡鳥ノ地獄ト云ヒ毒水ヨリ今ハ埋テヒ汝ノ取ノ銭磨ニ
ツケテ愈ルヨリ又本書ニ云越後ノ魚川辺ヨリ出ル石ニ混コロシト云ヨリ蝿コロシト云
コレモ今ハヒ又高野ノ奥度ニ行ノ道ニ凡五川ハ今モ小満ヤウニテリテ人ニ真
傍ニ石ヲ立テ弘法ノ哥ヲ書テシワラシ旅人ノ高野ヲクノ
玉川ノミツトアルヒ以上モノ名石ノ毒ヲ砒石ト名ク何物ヲ石ヲ知モヨリ又磐石モ
砒石ノ実ヒヒ毒ヒヒ少シ服セヒニモ又ルヨリ砒石ハ服用ニハ成カタキモノニ

石灰

イシバイ

礦石(イシアヒ)ヲ焼キテ灰トスルヨリ土中ニアル白キ石ヲ取リ細カニ砕キ焼クヨリ
ヒノ本山石灰ト云ヒ本ニ常ノ炭ニテ焼リ唐ニハ石炭ニテ焼リ江州石部ヨリ大平
寺村ニテ多ク焼リ偽物ハ石灰ニカラズ江州ニテ多ク蛎殻之実ヲ採テ焼リ此ヒ貝石灰
トヨリ礦石鞍馬山ニモアリ備正ケ谷義経ノ兵ヲ伏ル石トヨリ種〻ノ寄石アリコレ時
ノ自然ノ礦石ヨリ伊吹山ニモアリ外ハ白ニアリテ内ハ又黒ヒノ寄石ヨリ今ハ硯ニモ
用ユ亀川石モ此ヨリ上品ハ呼ベハ鳴ルモノヨリ磬石ニモ用ユ
本書ニ和俗ニ赤石灰ヲ馬ニ駄スニ必ス鎌ヲ帯ヒテ石灰ハ本ト水カレバモユルモノ
ヨリヤキ立時ハ塊テ石ヨリ出ニ水ヲカケハ熱テ粉トナル凡化水化ノヲヲ本草ニモ云リ焼テ
久シク積ニヨキテ自然ニ粉トナル凡化ト云水ヲカケテ粉ニスルヒ水化ト云若用ユル凡化ノヒヒ

国立国会図書館　タイトル『大和本草紀聞』　請求記号 特1-2022
ガラス使用

遇而水焼ニセリ博物志ニ載リ即ケ本書ニ其文ノ引ケリ又本書ニ棺又リカ地又ハ云ヒ小池又ハ云ヒ泉水ヨリ泉水ノ名向又ハ云ヒ京ニテハ云リ京ニテハ云沙アリ如ク沙ト赤土ト交リ火モノニ已ヲ石灰ニ交エテ水ナクシテ塊ノ如ナリ京ノ久キ土ニ埋ル者已ヲ交ルヲ他国ニシヤリナシ

外

温石 山東通志 又証羨本草ニ載スル所ノ日本諸州ニ多シ色ハ一様ナラス青モ白モアリ多クハ隋石ヨリ丹波ノ深尾峠ヨリ出モノハ青黒ク堅シ但馬ヨリ出モノハ黒ク白キ数アリ堅シ玉屋三里硯ニ作ル紀州藤代峠ヨリ出ルハ色黒クシテ但馬ノ産ト同シ仙臺ニ木松ヨリ出モノハ黒ク硯ノ石ノ如シ伊予ヨリ出モノハ黄色ニシテ黒キ紋アリ光リアリ硯ニ用ユ其外備州ニモ黒キ温石ヲ採ルヒナリ本草ニ温石ハ載スル所ノ石ニモ古碑ヲヤキテ用ル載セリ今塩ヲヤクニハ塩竈ノ砕ケタル石ヲ用ユ温気アリテヨシトス塩気アリテヨシトス

外

試金石 天工開物 ツケ石 コハ両替屋ニ用ユルモノニシテ金ノ真偽ヲ試ルニ用ユ紀州那智山ニ黒キ石アリ土ノ那智ノ口ト云目細カニメ光アリ硯ニモ用ユ上品ハ京ノ鳥川石ナリ黒ニシテ堅キヲシノヲ石ニ上品トセリ鳥川石ハ那智黒ニ勝ルヲノ石ニ金ヲスリテ見ルニヨリ負偽分ルモノナリ

和品

寒水石 コレ出羽ニテ寒水石ト云モノナリ白キ石ニテ肌アラキモノニテ淡石ト洋漬ケニスル寒水石ハ疑水石ナリ和漢ニ用ル者異物ナリ

硝子 ビイドロ 細目水精集解及琉璃集解ニ見ユ

硝子ハ焔硝ト鉛ト二ノ水精ヲ雑エ焼テ製ス也モトリ硫黄ノ少シ交エヤク法モアリ琉璃ハ日本ニテモ天竺七宝ノ一ナリ五彩ナリビイドロモ今ハリトヲ云ヒ北ニ象リヲ云モノナリ硝子ノ法要国ヨリ明ノ代ニ中華ニ傳ル其ヨリ日本ニモ傳エタリ日本ニハ蛙ノ去法ヲ不知唐ニテハ硼ヲ云リテ製ル法アリ硝子ハ必ス気眼トテヲ少キ様ナルモノナリ此レニテ異

偽ヨリ辨別スルモノナリ

磁石　針スイ石　鉄ヲ好ク吸モノニシテ舶来上品ナリ日本ニモ備前モヨシ薩ノ〻〻名鉄ヲ添ルニハ刀ヲ以テ礪モシ如法ノ上針ヲ多ク吸ヒ針ヲ多ク吸モノヲ上品トス

鐵砂　本書ニ云ヘリ和名ニ鉄砂ト云モノナリ漢名ノ鉄砂ハ鉄粉ナリ針屋ノセビ屑ヲ用ユ本草ノ鉄砂ハ漢名砂鉄ナリ天工開物ニアリ諸国ニ見モノ里ヤ細キ右ノ光アリ煮テ鍋カナトスヨシ時ヒテ銅鉄トモスヨシハ海辺ニアリ物ノ磨ノニ用ユ

和品ニガキ石　スリ針峠ノ名物ナリスリ針峠ハ江州地名ナリ已ハ皇粗キ粉ナリ砥粉ヨリ麁シ物ノ磨ノニ用ユルニハ白亜土ノ美ナリ

和品人肌石　漢名未詳　コレ江嶋ノ名物ナリ寒中ニモ石温カニシテ人ノ肌ノ温リアリトニヨリテ俗ニ人肌石トイヘリ

松石　マツイシ　本草綱目不戻木ノ附録ニ載セリコレ松ノ化石ナリコレモ処ヨリ化スルト不化トアリ能前ニハ松ノ化石多シ全キ松ノ木化石スルモアリ松脂石ニ化シテ琥珀ノ如キアリ東国北国得ニアリ諸木皆石ニ化スル俗ニハ樟ノニ化石スルヲ云ヒコレヨリ限ラスモアリ木理ヲ見テ何ノ木ノ化石トイフヲ知ルモアリ江戸池上本門寺ニハ全身松ノ化石アリ又ヨシ日蓮上人成佛ノ地トブナノ木化石アリ奥州ニモ木化石アリ黒白交ルモアリ美濃ニモデノ化石アリ奥州ニモ木化石アリ黒ノ黒柿ノ如シ薬前神功皇后ノ御船ノ帆柱ノ化石ハ今ニ残レリトイヘリ

硼砂　和産ナシ通名ヲ茶鋪ニ多シ又ハ硼砂　油硼砂ノ二品アリ

又ハ硼砂ノ方ハ色白ノ氷砂糖ノ如シ漢名ニ白硼砂トス本草綱目又油硼砂

国立国会図書館　タイトル『大和本草紀聞』　請求記号 特1-2022
ガラス使用

ハ青黒ノ黄色シ油ノ色シコレヲ漢名ニ青硼ト云本草ニアリコレハ茉用ニナラズテ
青硼ハ カナトカナトヽ接グニ用ユルモナリ蓬砂ト云モ 硼砂ノナリ

和品
備後砂　備後ノ名物ナリ盆石ノコキ砂ニ用ユ色潔白ニシテ光沢アリ又光
ナキモノアリ砂形細粗苦ニ因レサレ角アリテアラレノ如キモノヽ故ニ霰ズナト云本ト大石
ナリ碎ケテ細小ニナリ然ルモナリ備後ニ五郡帝釋ノ溪間ニアリト云今ハトメ石ニナリテ
採取ルコトナラズ又他国ニモアリ築前秋月ニモアリ備后ノ方上品ニ漢名ナシ

白礬　トウス　今ハドウサト云明礬ノナリ明礬ト云ハ上品ノドウサヲ
云ナリ舶来モ多シヨク透キ通ルヲ上品トスルナリ熱泉ノアル所ニハ必ズアルモノヽ じイキ地ゴ
クト云テ地ノアツウナル所アリ其所ニ細キ土ヲマキテ置ケハ礬石土ヲ付ク其土ヲ掃ニ入レテ
イカモニ入レテ水ヲアケヲロシ其水ヲコシテ礬ヲトルナリ又燃ル所アリ其上ニ木ヲ渡シテ置
キ土ヲヲキテ礬気ヲトリテ煎シテ礬石ヲトルナリ 唐ニハ礬石アリコノ石ヲ煎メ取ル

ト云フ天工開物ニ精ク云ヘリ 水ヲ白礬トトキテ唐紙ニ書クニ裏ヨリ黒ヲヌルト早石
摺デキルナリ古今秘苑ニコノコヲ 逡巡碑ト云テアリ早石摺ノコヲ云ナリ又セシクヅヲ
酢ニ浸シテモデキルナリ本草鉄落ノ条下ニアリ 土器ニ礬石ヲ入レテ土器ニテ蓋ヲ
ナシテ焼クト明礬皆下ヨリワキ上リテ蓋ニ付クナリコレヲトリテ茉用トスコレヲ枯礬ト云シ
不煆モノヲ生礬ト云本書ニ日本記ヲ引キテ昔諸国ヨリ白礬ヲ献スルコヲ載タ
リ

緑礬　ロウハ　唐音　ロツバシ
今染物屋ニ黒ミヲ付ルニ用ユ必ズ布帛ヨワクナルモノナリ和漢共ニアリ長門萩ヨリ出
ルモノ上品 コシテト云テモ工キニ青ミアリ透明ナリ舶来ハ少キ石如ク塊リテ緑色シ
久シクヲクト碎ケテ味噌ノヤウニナルヽ茉用ニハコノモノ佳ナリコレヲ焼クト和ト漢ト異ナリ
茉用ニハ舶来良ト云日本ノ産毒多シ

国立国会図書館　タイトル『大和本草紀聞』　請求記号 特1-2022
ガラス使用

和品
天巧碁子　自然ノ碁石ノコトリ海辺ニ色々美石アリ瑪脳ナドモ交リテ
アルナリ五色ノ石多シコレハ長州筋ヲ濱ニアリ又紀州ノ那智グロモ自然ト碁子
ノ如キ又他国ニモアリ阿波越後ノモノ色淺ク光リナシ

和品
饅頭石　コレハ長州竹ノ子嶋ノ海辺ニアリ筋ヲ濱ニモアリ丸ク一寸ホドヨリ大ナリ
長キモアリ外ハ浮石ノ如クアラキ肌ニテ細キウズ茶色ノ粉アリトルトキ粉付ケリ被ルト
中ニ黒キ石アリ餡ノ如シ故ニコシヂラ石ト云ナリコノモノ諸国ニアリ中津ニモアリ周防ニモア
リ東国ニモアリ津軽名物ナリ阿波ニモアリ本草禹餘糧ノ條下ニ光ル胡石黄ト
云モノ是レナリ故ニ饅頭石ノ漢名ハ卵石黄ニ充テ良シ

石蟹　カニ石　カニガ石ニナリ然モノ船来モアリ海濱ニアルハ尾州日向賀嶋
ニアリ海辺ニ石アリ外ハキタキ石ニアルト扁ナリ又丸キ石アリ又モラワルト中ニ爪ヤ甲ヤ足ナ
トアリ日本ニハ多ク山牛ニアルモノナリ近国ニハ江州藍河ニ多クアリ石蛤ナリ石蟹モ交リテ

本書図繪繪字當作會字
アリ別ニ石丸ナリ金柄ノ大サニメ山ノ岸ノ高キ処ヨリ風ニ従テ上落ルトキ石コレ交リテ落ツコノ
石ヲ割ルト中ニカニアリ諸国ニアリ上品ノモノハ一尺位ノモノナリコレ罕ナリ

石蠶　ミドリ石ト云海辺ニアリ長サ一寸巾三四歩大ナリ外正白メタカヒノアリ形
白蚕ノ如キ又蚕ノ形ノ石ナリ菓子中ニ松ノミドリト云アリコレニ能ク似タリ
本書ニ又石蚕ト云虫ニアリト云ハコレハ　ゲナル云虫ナリカイコノ細キヤウナ虫ニコノ虫脊横
ニハ細砂ヲ負テアルヽ腹ニ石ヲ付キテアル流水中ニアリ魚ノ餌ニアルモノヽ

鳥多泥　陵児茶ト云テ茶店ニアリ舶来今ナシ製法ハヒキ茶ヲ竹ノ
筒ニ入能封シテ汚泥中ニ埋ム日ヲ経テトリ出シ数アリ製シテ茶用ス泥中ニ埋ル
コト六十日斗アリ出シテ溝ノ臭気アリ日久シク臭気ヲ去リテ製スルヲ良ス
阿煎茶ノ条下ニ孩児茶ト云アリ同名ナリ故ニ本書ニモ百茶煎ノ一名孩児茶
ノコトヲ云テ同名異物ナルコトヲ辨セリ百茶煎ノ条下ノ孩児茶ハ五倍子ニテ製スルモノヽ

国立国会図書館　タイトル『大和本草紀聞』　請求記号 特1-2022
ガラス使用

外

泗濱石　王應麟五海　　ここハ泗濱浮石ニシテ泗水ノ中ニ大ナル石アリ水上現ハレテ見ユル故ニ浮ト云唐ノ名物ニヨモノ磬ニ作ル石ヨリ磬ハ八音ノ其一ナリ

南都ノ弘福寺ニ狗耒ノ泗濱石アリ和ニテハ美濃ト云ニ石アリ叩ケハヨノ鳴ル石アリ又鞍馬ノ谷ト云ニモ磬石ニシテヨク鳴ルモノヽ本書ニモ見エタリ

南都　茅原磬ト云ニハ石ニ非ス本書ニ誤ル

古尼　　古キ尼ヽ本綱ニハ烏石尼トアリ本書ニモ通リ筑前ノ都府樓ト云ニ唐人築前ニ来ルトキ滞留ス都督府樓ヨリコノ樓ノ尼ハ唐ヨリ来ル尼ニシテ砌ト云ニ到テ細ク表ニ粗キヽシノ紋アリ都府樓ノ文字アリ裏ニハ布目アリ今ニ方ニコレヲ以テ硯トシ云ニモノヽ多クハ内裏ニモ布目アリ表スアラキニシノ紋アリ然ニモ土粗ク都府樓ノ文字ナシ硯ニモヨキモノヽコレハ筑前太宰府内裏尼ナリ菅相丞詩ノ終日不出門ト云題ニテ都府樓惟看尼色ト云句アリ都府樓ノ尼ノ云ニモノヽ

墨　　スヽ　墨譜墨苑ト云書アリコヽニ法モ形モ精ク載セリ茅用ニハ松煙ヲ真油焼ヨリテ製スルモノ上品ナリ紀州藤代ニテ生木ノ煙ヨリテ製スルモノ下品ナリ今ノ年號墨ニスルモ是ナリ

本書ニ晁氏墨経ノ文ヲ引キテニハ又曰ト故墨ト云ヒ又曰ト新墨ト云フニ従テ二字ノ加ヘニテ佳ナリ又本書ニ江州ニ字ヲリテ又曰新墨ハ不及故墨ト云フニ従テ二字ノ加ヘニテ佳ナリ又本書ニ江州武帝墨并ニ字當作佐字又本書ニハ然ニ蔡ノ字當作蔡餘筆ニハ蔡ノ字當作蔡字又同条ニ獨茗墨ニ数百剣ト云茗字當作畜字當作勅字

外

鏡石　周陽雜俎　　カヾミ石　　ここハ石面平ニ光アリテ人物ノ影ウツルモノヽ金閣寺ノ傍岩陰ト云処ニモアリ馬牛ノ影ウツル秘処故ニ牛馬畏ル故ニ今ハ面ニ疵ツケ

樓ノ尼ノ云ニモノヽ

影ノ移ルヲヨロコベリ

鬼屎

地ベストヨメルモノナリ本草ニ部ニアリ文ヲ略ス降リテ地中ヨリ黄色ノ土ヤウナモノ出ルコレヲ云ヘリ西陽雑俎ナ巻ニ云鬼矢ト同物ニ矢屎相通用ス

陽燧

日輪火ヲ大カガミヨリ本書ニハ陽鑑ニ作ルハ非リ陽燧陰燧ヨリ捜神記ニ云夫金ヨリ云ヘルハ鏡ニ云ヘルカラノ名ナリ陽燧ハ日ノ火ヲ大リ陰燧ハ月水ヲ取ルニ鏡ハ正中ヲ凹ニセズハ取スルモノナリ

真珠

カイ全　貝中ニ生ズル玉ナリ浅通モ品アリ通ヘルモノヲ真珠トヨメシ胞胎共ニアリアワビ　蠔貝ニ云蝶ノ羽形ノ貝ナリ神カイニ云コレニ云ヘルモノ通ヘリコレソ珠母ヨメル本朝ニハ勢州ヨリ出ルモノ肥前大村ヨリ出ルモノ通ヘルモノ出ルモノ皆ニ劣レリ真物ハ正円白ク光リアリ女ノ毒ニ見ユ長或ハ角クルウヘルハ偽物ニシテ全ク長ニ三分ヲ真物アリ久シク貯ヘ置クトキハ玉ノモノ多クハ皆ニ劣レリ名品ハ日本ニモ沢山ナリ本朝ニハ石決明ノ玉ヲ真物ヨメル説アリ悪説ニシテ胞肉中ニ有ルモノナリトニ非ズ並ニ子ヲ色ニメサシ栄光アリ真物ト色ヲ上ニ又畔中ニモアリ紫色ヲ多クアリ下品又ハ貝ニコレニモアリ茶唐尾張真ノ珠ヨメルハ色白ク光リナキモノアリ市ニ見ユルモノニシテ下品ニシ又蒸硬ヲ以テ作リ偽物アリコレヨリ見分ケノデキルモノナリ

石膏

唐ノ舶来真物アリ和産モアリ尾州奥州ヨリ出ツ石膏ハ東針灸ヨメルニテ肌ニギヤカナルモノナリ硬石ニシテ針ノ如ナレバ長石ト名ヅケ東針灸ニ用ヨロシキモノ是ナリ

琥珀

俗通名ニ和産モ多シ奥州南部ヨリ出ツ山ノ堀リテ出ス松脂化テ琥珀ニナルヨシ云ヘリ本書ニ弘景ノ説ヲ引テ云ヘル魚魅ヨシ云ヘルハ和名石知ノ事ニ

コレヲ焉テ琥珀ニ似タリト云即チ鯨ト云ハ頸ノ骨中ニ凡石ノ如キ物アリ本条ハ赤色ヲ上品トス

銀朱　前

朱ヨリ墨ニスル朱ニ水銀ヲ焼キテ製ス本ハ辰砂ヨリ辰砂ニ毒ナキヲ故ニ毒アリ又焼ノヨリテ益毒アリ辰砂ノヤキテ水銀トナル水銀ノヤキテ朱トスルモノナリ

浮石　丸石　本草ニモウレツノ沸ヨリ生ズトス又山焼ヲ名ク浮石ニテルコモアリ ほが化シテ浮石トナルニ非ス

雄黄　舶来ヨリ和産ニ雄冠石トス赤色赤ノ魚気少ナシ眞ノ雄黄ヨリ今アル雄冠石ハコレヨリ出シトス新渡ノ色ノ赤キヲヨリ多シ丸モノニ今ノ雄黄トス奥黄也コノ中ヨリ赤キヲヨリ出シテ雄冠石トスナリ

雌黄　今不舶来　古渡茶壺ヨリ椎黄ノ眞ヨリ繪具ニ用ル雌黄トス別物ナリ繪具ニ用ル雌黄ハ蔓草実ハ藤黄ト云アリコレヨリ偏ニ載ス藤ノ脂トス和名ニ雌黄トスルニ同名異物ニ和漢同名故ニ茶舗テ本条モノ石雌黄トスルニテ和漢同名惑フ分ツニ全ク別物ナリ

朴硝　芒硝ヨリ和名芒硝トスハ言葉ノアヤナリ舶来ニ依様芒硝トスルコレノ本草倒目ニ苗トスルヲキキ土ヨリ焚湯ノカヘルヤウニ十二帝解ケテヨリルヨリ具ノ煎ズルニ大根黄ハルノ以テ度トシテ焼キヤハルヨリ古ヨリ未ダテケレバデキガ多ヨリ具ノ煎水ノ外ニ一病トシテ夜気ノ受ケト一夜ニ堀ルヨリ ズルニ針如クナルモノアリコレヲ芒硝トス上ノ方ニ馬牙硝トスル底ニ凡倒キモノ盆硝トスヨリ寒気ヨリキ時ハ馬牙硝ハカナシ寒気ヨキ時ニハ馬牙硝多クデキルモノヨリ茶店ニテハ二製ヒヲ隠スニ製スル故ニケリ多クハルヨリ手製ニテ住シ玄明粉トスルモ朴消ニ製スル法ハ

本綱目ニ載ス

塩硝　塩當作焔消　コレハ焔硝ナリ塩消ハ朴硝ノ一名ナリ朴消ハ水消ス
焔有ハ大消ナリ馬牙硝ノ形ニナルモノヲ各目モ同ク馬牙硝ト云ナリ煎煉スルト朴硝ノ形
ト同様ナリ見ワケガ今ヤウナルモノナリ本綱目ニハ消石ト載名ス

觀音石　今ナシ　砂中ニ和カ玉ノ赤キモノヽ形稲米ヲ三四合セタル如キ様ナリ
本綱目ニ石麪ト云アリ　コレハ肥後能登出テ名ヲアリ餞饉ノトキ出タリ唐ニモコノ例
アリ石麪石脂美ヲ觀音石ト云ナラシ

禹餘糧　ハツタイ石　ト云テ石中ニアリ外ハ円ク角アリ色ヽ形アリ茶色アリ白キアリ
中コトヽ鳴ルモノナリコレヲ割ルト中ニ粉アリ色白メ細キヲ上品トスウス黒キモアリ黄色ウ青キ
モウス赤キモアルナリ皆白キモノニ劣ルナリ

石燕　舵来アリ大者八九歩一寸位ノモノモアリ五分位ノモノ多シ形ハ如蜆蛤
外筋竪ニアリ横ニ廣キハ雌ナリ向ニ細長キガ雄ス

珊瑚　海中ノ石上ニ生スウミヒバノ生スルト同ツナリ一本立テ葉ナリ枝斗リアリ
皆茎モ枝ニモ細キ筋アルモノヽ色ウス赤ク黄ヲ帯ヒルナリ今ノ番国ヨリ来ルヲ至テノ色ノ
赤キハ偽物ヽウス赤クサシ黄ヲ帯フ筋ノアルモノヽ眞ナリ正赤ニシテ筋ナキモノ偽物ナリ
魚人度々網ニテ採リ名ヲアリ白キモノアリコレハ若キモナリ折ルト中ニ赤キ処アリコレ必ヒマト
年ヲ重子テ赤ナルナリ

青琅玕　青サンゴビユチリ珍物ナリ偽物多シビイドロニテ偽ルヿ多キモノナリ
コレハ又カニテ見ト硝子ナレバ中ニ気眼アルナリコレガヨキ目利ナリ唐ニテモ青珊瑚ト云綱目ニ
コノ名アリコレ別ニアルモノニアラズ即チ珊瑚ノ青キヲ云ナリ甚タ奇品ナリ得ルモノナシ

国立国会図書館　タイトル『大和本草紀聞』　請求記号 特1-2022
ガラス使用

銭　ゼニ　體田ハ應天孔方ハ效地ト云ヘリ本書ニモ云ヘリ

五百年以上ノ銭ノ古文銭トシテ茶用ニ久用元銭、昔ヨリ日本ヨリ種ニ有ルナリ
重サ一又径八分アリ此ヲ以テ度量考ノ考ルニ唐ノ世ノ方ヨリ開元ガ元宋
帝ノ年号ナレバ玄宗ノ時ニ鑄ル銭ニ非ス唐ノ高祖武徳四年ニ行レル銭ナリ
欧陽洵ノ書ヨリ八分ノ篆書ト將書トアリ開元ヨリ内ハ元宗ノ年号ナル故ニ開
通元宝トアリヨニ入ルヨリ仏形ノ小唐ノ俗説アリ中裏書ニモ見ヘタリ銭ノ鑄ル
始ニ幌ノ銭之形作リ献セシニ文徳皇后コレヲ取テ仏形ノ字ヲ具備銭ノ
ケ条モ故ニ今ニ形残リトリ云説リ然レドモ此時貴太后既ニ崩メ文徳后ノ
白ヲ后ニ至ル九時ナレバ文徳后ノ仏形有ベキコトニ非ス此仏形ノ今用ヒ
モアリ二ツアルモアリ仏形アル唐祖ノ時ノ始メ銭アリ今モ難リテアルモノ後ノ書ニ
開元年中ニ鑄ル銭アリ北ガ文字ヨリ一寸モ悪シ後武宗會昌年中天下ノ佛
器ニテ鑄ル銭アリ北ニ八國ノ内ナリ一ツノ小付メリ北ハ今ヤレコレモナ佐悪シ、度量考ニハ
用ヒシ大度量用ニハ仏形アルノ用ニハナリ銭ノ一個目ニ悉詳ス

黒石脂　石ノ黒キモノナリ則生尾山ノ黒土是ナリ前ニ和品黒土トシテ
ハモノ即チコレナリ土細ニメ黒ク灰シ油アリ手ヌト云ヒシ
ニ入ルナリ船来ノ赤石脂ハ黒ニアリ佐渡ノモノ上品ニシ秋田産紫色ノ帯フ上品ニシ白
石脂モアリ佐渡ノ産今ハナシ和産ニ上品ニリ

石鐘乳　ツヽイシ　石ノツヽイ
洞穴ニアリ仏穴ト云モノアリ己ニ入ルトコロデモヅヽキテ尺
ヨリ本ハ水ナリ石ヨリ出ル乳水ガ集リ塊マリテ如氷柱ナルナリコレ石精液ナリ京ニハナシ
江州ニハ多クアリ

水銀　ミヅタマ　辰砂ノヤキラ取ルモノヤキヨウ天工開物ニ精レ又海ニ
水銀アリトテ本朝目集解ニ載スコレハ忘言シト云ニ唐物ニハアリ又
馬歯莧ヨリ水銀ヲ取ルトテコレ亦虚説ニシ馬歯莧ヨリ水銀ノ如キノ個目ニ草噴

国立国会図書館　タイトル『大和本草紀聞』　請求記号 特1-2022
ガラス使用

ト云海ヨリ出ルヲ海頃ト云ナリ鏡ヲ磨ギテ光ヲ出スニハ水銀ニ錫ヲ入レテ煎ニ焼キテコレニテ光ヲ出スナリ鏡ニカギラズアカガネレンチウ麦ニナ下ヲヨリ磨キテ上ニ梅酢ヲ少シヒキテノノ水銀ト錫トシヤキタル用テ磨スルト忽チ銀色ニナルナリ然レトモ早ク銀色消スルモナリ

軽粉　ハラヤ　イセヲシロイ　ハラヘ　古名

水銀ヲ焼キテ製ス本草ニ精シク製方アリ伊勢ノイザワト云処ニヲ製スルナリ本ト勢州ニ自然ノ水銀ヲ久ルコアリ伊セノ名物ニ今ハナシ今ハ辰砂ヲ焼キテ製スルナリ軽粉ヲ伊セヲシロイト云ニヨリテ鉛粉ヲ京ヲシロイト云ナリ

雲母　キラヘ　キラ　又通名ナリ

日本ニモ諸国ニアリ参河ヨリ出ル石ヲツリテトルナリ紙ヲ重ネ如キ形ニナリテアリ（ラニテヘダニ幾枚ニモヨク〳〵ヘダルモノナリ紅毛ヨリ大キタルモノ来ル銀葉ニ用ユルモノハ日本ニモアリ下品モノハ粉ニシテ有リコレハ襖ハ形紙或ハ扇子地紙ナトニ用ユルヘシ本書ニ引ク本草ノ文ニ成膚可析ト云析字當作折字アリ

穀類

稲

イナ子　稲ト云ハ久モチノ物ナリ

レヨ子　今飯ニスルモノ粳中ニ六七月ニ熟スルアリワセナリ　早粳ト云　ナカテト云アリ遅粳ト云

ワセモチトモアリ晩粳ト云細目ニアリ中辛ニテ南方ニハ一歳ニ再熟スルモノアリト云アリ

三歳ニ三熟四熟スルトモ云ヒ本ニモ九州ニハ一歳再熟スルモノアリト云アリ

本書云宇奥曰粳以白晩米ト云ヨシ歟米ニ赤白アリ白ヲケタ米トニヨシ歟米ニ赤白アリ白

晩米ハ白キ方米ナリ　本書ニ云禾稈ハ當作禾稈　コレハイナノワラニヨリ

本書ニ云　香稲　東垣食物本中ニモ載スルコレハ　ビヤコウゴメ　カバニコメ

飯シテ香気アリ日本ニ品美多キモケリ

糯

モチ子　モチゴメ　粳ヨリ性ヤワラカナリ粳ハ水ニ漬ラモ急ニ和ヤラズ

本草或ハ医方ニ稲ト云ハモノナゴメノコトリ古書ニ云稲ハ糯粳ヲ惣シテ云ナリ

本書ニ云陶隠居ノ食ニ夫稲ト云モ糯ナリト云ハ非ナリ粳糯ヲ惣シテ云ヒシ歟ノ註ナリ暗ニ

モ稲穢並治テ為紙ト云ハ稲穢ト云ハワラノ事ナリ

秈

タイトウコメ　佛国ニ多ク九州ニモ亦多シ常米ヨリ粒小シク大小アリ白モ

赤モアリ久モチモケレドモ有ルヲ俗ニ大唐ヨリ来ル故ニ大唐ト云ヒシヨリ

コレハ水ヲ厭ノゾミヲモ甚和ラゲ故ニ病人食之性ナリ秈陳ズレバ米ニテヲヨリ

トリ本草ニ云本草ニ和其種占城ヨリ来ルト云ヒシヨリ来ル故ニ云ヒシ占城ハ手ヘトヨリ

ヨヨリ来ル故ニ名ヲ占米ヒラシ細目ニ載ル右

蜜種
占城米

チヤバゴメ　コレハホンラシゴメ　今ハ天竺ヨリ支那ニ多ク植ル国

ニテハ水ト陸トニ種アリ久モモノナルアリ苗高サ人ノ丈ホドニ九穂一尺余ニテ米粒

大サリコハ本草ノ秔米條ニ云大米ト云ヒシヨリ嶺南ノ南ハゾレニ山ノ如ク処アリ

コノ処ノ住ム民人山草木ノ短ニ厌トセル此厌中ニ種ニ水ト土ニ出来ヒタリ故ニ
故ニ火ヲ不ト云ノ一個ヲ取リ本條モ此ノ意ノモノナラン

大豆

黄大豆ヨリ日本ニテ云白豆　ニソマメト云モノニテ本草医方ニ云
大豆ト云ハ黒豆ニ十リ黄大豆、民用ニヨリテ菜用ニ先ツ用ヌモヨリ江州ノ大豆上品ナリ蔓
豆秋豆トモアリ蔓豆ハ大豆ノ中ニテ下品ナリ豆腐ニ用ユ唐ニテ菽豆ニテ　梅豆トモ川
今通考ニ載リ秋豆ハ秋ニヨリテ熟ス上品ヨリコハ唐ニテ　穀秋豆ト云　證
治要決ニ載リ黒豆ハ大ナモ蛸ヨリ形小ナル雄ヨリ菜用ヌ尤カ豆如ク小サキモ
ノハ別ヨリコハ穭豆ヨリ　本書云　粟豆ニハ　カレ豆　ナラ菜マメトモ形大ニシ
紫色ニ茶又ハ濃キヨリ紫褐色ナルモヨリ形丸キモヨリナレラ　菊豆　菊大豆、
ニヨリ本草大豆條ニ名ニ載リ　本書ニ　ウヅラ豆ト云ハ常ノ豆ヨリ大キク扁
名ヒ地黒メラマキ班リ変ハリ皮ガ落ヲ常ノ豆同ナリ　班豆ト
ニ本草載ス　又云　鞍カケ豆　ト云ハ常ノ豆ヨリ大ク扁ク地白ニテ
黒キ処アリ鞍ラカケ丸ヌウニ見ユヨリ渡名ヲ別ニセル　班豆ノ一種リ
又穭豆　ト云ハタダキリ豆　コレモクワレマメトニヨリ菜ヲ子屋ニテ熟リテ地黄煎ニテ好ク
扁クシテ黄ケルモノヨリ故ニ菜子豆トモシ二肘茶屋ニテ煮豆ト云ハ本書ニ野生ト云ハ訛リ
野生ニテクダキリ豆ヲ云ヒ別物ニ穭豆ハ黒大豆ノ中一種中希ニト云ヒタルヨリ豆ト云ヘ
濃名　鹿菴ト云本草細目ニアリ鹿糞ニ葉ケシク丸ニ豆ノ姿如クレニテ耳アリ熟ア
リ熟スレハ赤黒ノ子実細ノ黒キモヨリ実向ヨリコレヲ名ケリ豆ト云又
ウイロウ豆ト云（三カワ氏ニヨリ）穭豆ト同名異名ナリ本書ニ收ル本草ノ引キテ云説
豆ハ即ケ鹿糞ニヨリ本書ニ收ル可ヤ別モノニアリ

赤小豆

アヅキ　品類多シ大希食用ス小希茶ニモ用ユルモ最
秋ニ熟リ莢方ニ粒ヨリ秋方大粒ヨリ茶用ハ　穭附希ト云ヨリ出ス小豆赤黒ノ大モ
ノヒラ俗ニホリガキト云ヒ茶用佳ヨリ穭附赤ト云ハ本注達京ニアリ色ヨリ赤ノ粒ア
ウキヲ希大豆ト云本草ニ菜言ニアリ本書ニ赤豆ト云ハコレ赤豆ノ皮色白キヲ云

国立国会図書館　タイトル『大和本草紀聞』　請求記号 特1-2022
ガラス使用

コレヲ濃豆（アヒヅ）ニスルヨリ濃名アリ豌豆トモ云シ本草ニ載ス ジヤボン豆ヨリ緑豆モアラインゲンニモ
シ白豆ノ大ナルヲ上品シ白豆ト白ノ小キヲ下品トス
紅豆　サゞゲ　紅豆ト書ハ惣名ナリ本書ニ夏ト云名ハ十八サゞゲノ下ノ莢
ニツヅク垂ルモノヲコレモ長サゲナドト云名アリコレモ就
裙帯豆ト云時珍食物本草ニ載ス 又蔓短ト云ハ凡サゞゲノ下ノ圃ニウエルモノ
也豆ト白ナウデキルモノヲ莢ニツク上ニ豆モケシ下ニ不垂已ハ莢食用ニテ又実ヲトリ
リ食ス ニトリサゞゲ ツヅサゞゲ カヅキサゞゲ イラリコト云濃名 截豆ト云
時珍食物本草ニアリコレモ莢名ニ赤白アリ白ニ黒キ班モアリ色ニ
モヨリ本書ニ云濃茎飯和洽シヲヤメシ云ヲヤリ濃名ニ非ス 本書ニ豫豇豆ト
云ハ 目ガヲ似タル故ニ名ツケモ豇豆ノ条ヲ別ニ濃名ナシ 豫豇豆ト云和名ヨリ
又云 隔元豆ト云 京デトウサゞゲト云シ サゞゲハイガノミジヤキモヨリ早ク熟スルヲ
一年ニ二度ホドデキルモノヽ濃名 茱豆ト書ス盛京通志ニアリ京デインゲン豆ト云ハ
倫豆ノ下ヨリ

緑豆　ヱンドウ　ヤエヨリ　コレハ莢ヨリ粒ヨリ粒ヨリ緑色シ ヤヽ色帯ルモア
リ早ノ字ノ如ク莢度モ実付ク故ニ八エヨリト云 本草ニ水綠ト云名ハ索粉ト云ト同ユ
索粉ト云時珍食物本草ニ水綠ト云名ハ和名ヨリ索粉ヲ如ク緑豆ノ粉ニテウドンノ
ヤウニキリテ食用スルヲ云シ 本書注ニ豆油ヲセヌヨノコトニテリ豆油ハ別ニ本草ニ法アリ
醤油ト別ヨリ醤油ト書ヲ仕ヨリ醤油即チ濃名ヨリ本草醤条下ニ載ス醤ノ汁ノ殻
リ名モノ即チ溜醤油ヨリ

蘿豆　ソラマメ　実生シテ空ニ向フヨリ名ト云説ニソラ豆ト云ヨリ云ヽ
本書ノニテ名ヲ付キハ舶来ノ初ヨリ見エ今多ク名ヲ大和ニハ大和豆トモラナヲ茶ナレニ入レニ食
又大和訓ハ一様ニ茶ナレヲコレヲ大和ニハ時節ニモ製ス

刀豆　十六豆　　手熟サキハ汉軟ナレ食用ス熟シテハ莢ハ堅シ故ニ豆モ
不熟内ニ食用ス本書ニ二種花白トアルハ白ナルベシ又曰ク実ハ小ナリトアルハ蚕前刷ニ種
アルト見エ京ニハ豆大サ本條ト同ナリ常ノ刀豆ハ蒙花ナリ花形インゲン豆ノ如キモノ
ナリ莢ハ長サ八九寸先形状知レ先モテリ故ニココニ略ス

白扁豆　　茶用ニスル扁豆ナリ豆色白ナリフレシヲ（ヒラ）平豆トモイヒンゲン豆ノ莢ナリ扁
豆トイヘルハサンゲン豆ナリ白扁豆ニカギルベシ　蕃胡サンゲン豆ト同シ白扁
豆ハ品美ナレ一通リ許リナリ黒白赤班色トイヘルハ本扁ノ能ケリコハインゲン豆ノコト混
シテ云ヘルモノシ　本扁ニ嫩時サヤモニ食用トスト云ヘル扁児豆モ扁児豆ノコトニシテ
イナリ赤班色トハ白花ノ扁児豆イナリ本扁ハ白扁豆ト扁児豆ト但陳スル能ク

外
扁児豆　　救荒本草　インゲン豆　本草ニハ鵝豆トアリ扁豆ト本中有ルハ井ン
ゲン豆ノ想稱ナリ形状知レ先モテリ花紫ナル蕾生ス莖蔓茂ルモテリ籬前ニテ

南京豆ト云ハ京ニ云サンゲン豆ナリ籬前ニテインゲン豆トハ京ニ云トウナゲイナシ

黎豆　　八束豆　　天竺豆
ニハ先モ文京ニハサシ刀豆ヨリハ細シテフト豆ヨリハ大キリ乳色ト白色ト交リテ見モテリ
冬年取ノ色似ルトイヘリテ狸豆ト云ヘリ本草ニアリ狸豆ハ乳色ト白色ト毛文リノ
アリ故ニ云リ莢ノ実豆ヨリ大キニ長シ未熟ノ中ハ莢共ニ食ス熟スルト皆色ニテリ堅
キ花濃紫色ニノ実事シ花大サモ大キリ葉形ア豆葉ニ向フテリ本書ニ
天竺一豆ノ三類多シトハ一ヒ時同物ニ別実ニアラズ

豌豆　　今ハ通名アリ
ソラ豆ト同時ニ種ヲ下スシ豆ノ実
早ノ実ノ下ル故ニ先登ルトニ名アリ葉ハ藤ノ葉ノ如ノ蔓
中リ葉毎ニ鬚出テ物ニ絡フ花ハ四角ノ茶色ニ黒モアリ
本書ニ載ス天功開物ノ功多ク當作エ字功ニ作ル

外

落花生 典籍便覧 本書約言東垣食物本草ニモ載タリ

漢種ナリ長崎ニ多シ菓子シタリスルモナリ古ハ寒国故ニ不育葉形蚕豆ノ葉ノ如ク四枚付キテ一葉ナリ茎葉共ニ毛茸アリ初生ノ葉一葉互生ス根本ヨリ蔓地ニシキテ繁茂ス葉間毎ニ花一輪ツヽ付ク茎出テ其レニ花付クナリ花黄色花ノ後ニハ実不生花後ニ一歩斗 白根出テ五中ニハイリテ其ノ先キニ丸キ莢付クナリコノ中ニ豆二三アリ秋ニナリテ熟スルヽコレヲトリテ洗ヒ干ストウス茶色ニナル中ニ赤キ豆アリコレヲ食用ニスルナリ菓子或ハ吸物ニス花形ハ赤小豆ノ花如ク黄色シ又西豚根ノ花ニ似タリ西豚根ハ和名ニヤコグサ云

麥 ムギ 此麦ト一字書ノ時ハ大麦ニナルヽ本中網目ニハ麦ト一字云々小麦ヲニナルナリ本書ナハ齟齬ス本書ニ朝鮮ムギ上云ハモチムギト云モチリ時珍本網目ニ云大麦亦有粘名穤麦ト云コレ朝鮮ムギノナリ本書ニ述異記ヲ引キテ云雨中久不乾ハ飛蛾トナルト云ヽ飛蛾ト云ハ麦ノ虫化メ蝶ニナルナリコノテウノコヲ飛蛾ト云ナリ

小麥 コムギ 今ウドンノ粉ニスルモノナリ大麦ハ飯トナス小麦ハ麪麦ニ用苗ノ形状知レタルモナリ故ニ略ス

蕎麦 ソバムギ ソバ 角ノアルコヲソバト云ナリ

蕎麦ハ早ク実ノコヲキルモナリ七月ニ蒔キテ九月ニ実熟ス甚早キモノナリ俗ニソバ子リト云モノヲ製シ食ス漢名ヲ 黒児ト云典籍便覧ニ載ス 河漏ト云ハソバキリノコナリ王禎ト農書ニモ載タリ

黍 コキビ コキビモウルキビモ形状ハ同ナリ粘ル方ガモノナキビト云リ黍方ナリ粘リナキヲウルキビト云コレハ次ノ条ノ稷コレナリ

稷 ウルキビ キビノ粘リナキヲ稷ト云ナリ飯ニ製スルナリ

国立国会図書館 タイトル『大和本草紀聞』 請求記号 特1-2022
ガラス使用

粱 大アワ 粟ト云ハ カカワイナリ
形状知レタルモノナリ粱ハ穂長大ニシテ毛長キナリ粟ハ穂短クシテ毛モヒゲモ少キナリ
一通リニ多ク作栽ルモノハ粟也 粟ニハ品类多シ本書ニ粱粟通シ呼テ粟ト
云ト云粟ト云フ假名ニテアワト云ト書キテ良ナリ

秫 モチアワ チバリノ有アワナリ

稗 ヒエ ヒエト云 穇ト云稗ハ自然生ノヒエノコトナリ品类多キモノナリ下
品モノナリ

胡麻 通名ナリ 芝麻 脂麻 言通ス
巨勝子ト云ハ黒胡麻ノコトナ 苞ト云ハサヤナリ 本書ニハ芝麻脂麻ニ巨勝子胡麻
ノ別名ト云説麁ク巨勝子ト云ハ黒胡麻ニ限リタル名ナリ漢ノ張騫西域ニ使シテ
種ヲ得テ帰ル故ニ胡麻ト名クルナリト云テ本書ニモ云ヘリ 佃田ニ本トコノコヲ載タリ
胡麻 苞ハ四角六角八角ナリ 八角ナルモノヲ東胡麻ト云 茶用ニハ黒胡麻ヲ上
品トス白ハ下品ナリ巨勝子団子ト云ルモノハ薩州ノ黒胡麻ノ事ナリ和産ニテハ薩州
ノ胡麻ハ上品ナリ本書ニ茶用ニ入ル麻油ハ生ニシテ用ルト云ハ胡麻ヲ不炒ニシテノ
油ヲ取リタルコレヲ白シボリト云漢名 生油ト云 佃田ニテリ 熬リテ油ヲ採リタルヲ
香油ト云ヒ 佃田ニアリ 本書ニハ生ニシテ香油ト名クルト云テ此ノ説非ナリ 胡麻苗
名ヲ青蘘ト云 佃田ノ序例ニ載ス青葙ニモ青蘘ノ名アリ同名アリ 葙蘘相通
ス故ニ物給シ安キ故ニ序例ニ青蘘ヲ青葙ニ作ルト云リ

薏苡仁 トウムギ コレニ大小ハナキモノナリ本書ニ大小アリ云ハ非ナリ本書ニハ
ヒエスタマト混シテ云フモノナリ穀ノ名ナキトモ云ルハヒエズタマノコトナリ堅キモノナリ尤白然ト通リ
テアリコレヲ絲ニテツナギテ珠数タルヒエズ玉 漢名ハ 川穀ト云 救荒本草ニ載タリ
薏苡仁ニテラズ直ナノ薏苡ハ実ニ長シタルモノナリ本書ニ大キモナルギト云ハ鬼豆

ズ玉ノ如ク穂木トスル本個ヨリ本ヲタタカノ数珠ト云ハコノ意ニテ製スルモノナリ若シ意次仁ト云ハ皆川穀ナリ下品ナリ偽ノ意次ハ一年立ナレハ玉鬼ニテ玉ハ野生ナリ蕾根ヨリ生ス本書甚混雑スヨリク可弁別ス可キ事

外

沙羌米　典籍ノ

サゴヤシ　コレハ番国ノ産ナリ一分ホドノ大サカ丸茅ノ如クニテ茶色モノコレ水漬シテ煮ルトクモチ如ニテ粒々分ニ見エタリ味ハ之ヲ知ルニ典籍医ニハ樹皮ト云ヒ又ハ木津ト云ヒ又ハ葛粉ノ製ス如シテ務ノ丸ズヤベイヲ製ス典籍ノ院ニヨリ見ルハ樹皮ヲ搗キテ莫ハルモノト見エタリ樹皮何物ヲ不審テ本書ニ国俗ニサゴヤシト云西国米西国米ト書ルハ非ナリ云西国米名ハ漢名ニアリ西国米名ハ生西国米通雅番薯ノ本書ニ個ノ蒻米ヲ載ス蒻米ハ花カウヒニテコノコモノ実ノコナリ蒻米亦相同ニ旅ナリ全ク別物ナリ可弁別シ

大和本草第四巻

造醸類

糗飯　ウルシイ、

コレハ飯ノ炊ヨウヲヨク云テ湯取シ二度飯ナドノ委ク徧ノ説住リ餘ト云フ事ナリ菓花物語勇鏡ナドニ飯ヲ御臺ニ至リコレ貴人ノ飯ハ臺上ニ通テ進ル故云ヒ古キ言辞ナリ臺ハ几案ノ惣ニテ云ヒリコレ国俗ノ言習ハシナリ

外

焼飯　ヤキイヒ、

コレハ即チ世俗ニ成ル処ノヤキ飯ナリ倭本草ニ云

説住シ

飧飯　ユウケイ、

餐ト云ヒ飧飯ト同ケリ飯ヲ水ヲ又湯ヲカケテ世俗貧食ヨリコレヲ惣ニテ飧飯トヨリ水ヲカケシタルヲスイハントヨリコレハ古キコトバ

陳氏物語ドトモアリ大和本草ニ今国語焼茶飯ヲ好ムトヨヒ久ハ即チ

国立国会図書館　タイトル『大和本草紀聞』　請求記号 特1-2022
ガラス使用

世ニ製スル處ノ本ナリ又蕎麥ヲ入ルモアリ又蕎麥ヲ入ルコモアルシ

陳倉米　ツルメ　即ケヒヲノコメヨリ每久シク貯ルヲ陳倉米ト云テ說住シ

荷葉飯　ニハ荷葉ト陳倉米ノ粉トヲ茯ヲ糊ノ如クシテ丸ヌヲ煉ルニコレヲ用ヒコレヲ荷葉飯ト云倭本草精ノ条ヨリ說住ヨリ故ニコヽニ不載ヌリ

餬　中子　倭本草ノ說住ヨリ故略シテ精シク解セス

餬ノ字ヲモテ訓スルハ陽ヨリ餬ト云ハ餬口ト云ヒ餬ト云ハ糊ト云ヒ糊ハ粘ルヲ以テ名ツケタリモテト云ハ資ト書ノシ說文ニ資ヨモノモチコナリ

餅ヨリ穴ヲ粉ヲ以テ作ルモノヲ云シ○餻ヨリ云ハ唐ニテ肉ノ用イテ作スモノヲ以テ日本ニ餻ト云字ノ唐音ヨリ云シ餻ヨリ蓋アルヨリ云ヒ餻ト云ハ餻ノ字ヲモテ訓スルニ同シ

黴麹草ノメンゴニスハ二月ノ午ノ日ヨリ世上多クハ艾葉ヲ用ルヨリメンゴニモモケニモ入レ又ヨモギノヲヒゴヨモギモチナドトモニ製スルモシ

酒　サケ　本綱日モ精久倫セリ凡酒ノ酒ノ酒經或酒濡ニ精シキヨリ酒ト名酒アリ

濃ハ宋ノ寳革ノ蒂書ニ日本ニテ施州名酒アリ紅毛人持來ル酒ニ品ノアリ葡萄ト云葡萄酒ト一ニハト云燒キ生シノセウチウノヨシ又ハト云燒酒ノ雜子砂糖ヲ入レテ製スルモノヲ云ニテ料理ニ用ルモノトシテ中華阿剌木ト云ハ燒酒ノ事ニテ酒名多シ酒日ニ品ノ茶酒法アリ

屠蘇ト云ヒ品ノ方アリ日本ニモ今正月用之ニ屠蘇酒ノ延喜式見ヘリ

燒酒　セウチウ　酒ヨリ製スルモノヲ甚氣烈シキモノヲ燒酒ハ火ヲケテモテストヨリモテルモノヲ花火ト製ハトキモヨノ從ルモノヲ故ニ人ニ用ルヌリ

酒糟　サケノカス　本綱目ニ酒糟ヲ精ク辨セリ倭本書ヨリ説佳ナリ故ニ
コヽ略ス可参考ナリ酒ノカスニテアサラリナトヲ漬タルヲナラヅケト云シ其外魚羹ヲモ
酒糟ニ藏スルニアリ

和品
味噌　ミソ　此ハ日本モノナリ唐ニモ朝鮮ニモナシ味噌ハ豆豉法ニ
近キモナリ中華ニテ豆豉ニ鹽ヲ入レテ平生食スルト云シ豉ニ塩ヲ入レタルヲ塩豉ト云シ
茶用ニスル豆豉ハ淡豉ナリ

和品
米粃味醤　又カミソ　此ハ又カラ味噌ニ製シタルモノナリゴト味噌ト云シ
コレモ今ハ品字製スル法アルナリ一法ノミニ非ス

豆油　豆油ヲセウユト訓スルハ誤ツリナリ醤油ト云ハ通名ニテ漢名ニ醤油ト云シ
本草原始ニ醤油ト云名見タリ醤油ト云ハ則チ醤ヲ絞リ先ケナリ豆油ト云ハ綱
目醤ノ下ニ法アリ日本ニハナキモチリ又豆油ト云モノアリ豆ヲスリテ油ヲナリコレヲブト云ナリ
深物ニ用ユルナリ日本ニモ用ユ唐ニモ用ユル右通リニテ豆油ト云ニモ二品アルナリコレヲ
セウユト云ハ大キニ訛ノナリ

酢　ス　唐デハムギヤコウジ酒ノカスニテモ酢ヲトルナリ果ノ美ヲモ作ルナリ茶用ハ
米酢ヲ用ユルナリ日本ノモノハ米酢ナリ外ノモノヲハ不作ナリ
李中梓ガ茶性解云反蛤肉然レトモ毒ナキモノト見ユ日本往々酢ニ蛤ヲ浸シテ皆食スレ
トモ毒ニ中ル人ナキナリ是ヲ以テ見レバ毒ナキモノト見ヘタリ

豉　豆豉ナリ豆豉ニ二品アリ塩ヲ入レズニ作ルアリ黒豆ヲ取リテ作ルナリコレヲ唐デ
淡豉ト云コレ茶用ニスル豉ナリ又塩ヲ入レテ作ルアリ唐ニテ皆平生食用スコレヲ唐ニテ塩豉
ト云ナリ俗ニ中ニ綱草ト云モノハ即チ淡豉ノコトナリ演名綱豆ト云ナリ和名ナリ今正月寺方

国立国会図書館　タイトル『大和本草紀聞』　請求記号 特1-2022
ガラス使用

三多ノ作ニ似タリ製品ハ少シ中色ニモノヲ藏タルモアリ大抵醬ニ似タモノナリ

倭本草ニ別ニ種俗ニ納豆ト云モノアリト云ヘリ已ニ唐ニ豆黄ハ豆ヲモノヽ同シヤウナルモノナリ黒豆ヲ腐ニテ作ルモノ日本ノ納豆ヲ軟セスンバ豆黄ナリ又 杏味噌ト云ハ本邦産ナリ法倭本ノ精ノ醬ヲ南部ニテ法命味噌ト云ヒ納豆ニ似タルモノナリコレハ家ノ法アリテ作ルナリ居家常用ス

蒸餅　パンノ事ナリ京ニハシ長崎ニテ製ス唐人食用スルモノナリコムギノ粉ニ中ニ酒ヲ入レテ製スルノ皮如キモノヲ餡ハサキモノヲ剤ル中ニスルヲ云酒ヲ入レテ作ルヲ故中ニスルモノヲ此中ニ餡ヲ入ルハ即チ饅頭ナリ唐ニテ蒸餘ノ水漫シテ製シテ丸薬ヲ製スル類ナリ

饅頭　即蒸餅中ニ餡ヲ入レタルモノヲ本ニアンコト云ハ此餡ト赤小豆ヲ以テ製スルヲ唐ノ餡ト云肉ヲ以テ製スルヲ饅頭ト云モハ本唐ノ方ヨリ南都塩瀬ノ先祖ヨリ廣ムル所ナリ塩瀬ハ林和清ノ子孫ヨリ後蒼陽服改ノ賞ヲ得シヨリ今塩瀬ヲ改テ云モノアリコレ即チ林和清ノ手苗ヨリ稍ノ饅頭ノ記圖ニ記載タリ可參見又菜マンヂウト云ハモチヲ皮ニ製シタルモノナリ

麥芽　ムギモヤシ　茎用ニスル麦芽ヲイフナリモヤシニスル法アリ飴ヲ製スルニモ用ヒ又栄モヤシニ唐ニハアリ皆茎用ニスルヲ

麪　コムギ粉　今云ウドン粉コレナリ　少麦ノ粉ニシテ綿ヒ薄ヲ云リ先モテシ

○麩　小麦ノ粉ヲ丸ニシ赤キ粉ヲトリ去テ白キ粉ヲ云婦人アライコミ用ユルヲリ麩ハムキカス即チコムギノ皮ナリ

○麦粉ハ云　セウフナリ即チ濃谷ニ小粉ト書タリ細ク小麦条下ニ小粉名見エタリ

唐ニテ麦粉ト云、小麦ノ粉ノ云ヒ麪ノ製スル、ウドンモ粉ト麪トヲ水ニテ捏ル、モメバ麪ニナリ又ノ院ヲ抗ケノ水飛ス、粉トマハリコレヲセウフトイヘリ

○麪筋ト云、即チ麪ナリ麪筋漢名ナリ本倣同ジ

外 湯餅 雑記出 ウドン 湯餅ノウドンノモ云ヒ又以麪為食ト黄テ料理ニスルモ湯餅ト云ヒ本ト ウドントハ正字通ニ溷淘ト云名アリ又涼淘ト云アリコレハヒヤムギトイフモノニナリ溷淘ト云ノ唐ニテウドンヲ云ヒ○索麪ト云ハソウメン ト云モナリ今世ニ多ク手ニ索ト云、細ク俗ノ如ク乾ヲサレテ云ヒナリ

豆腐 通名ナリ俗ニカンプ、ト云ナリ豆腐ハ古ヘリ入故ニ毒ト云ナリ○雪花菜ト云ハキラズトモ云ナリ豆腐花トモ云雪花菜ノ名花実ニ見エタリ

○豆腐皮ト云ハ ウズ 腐皮ニ云ニ名アリ豆ノ豆腐ヲ作ルアワヒ同出タリスベハ豆ノ皮ナリ○金ニテ巻ト上ニ皮倍モナリコレ腐皮ナリ筋ニテ乾ストリウヅンヒハ餅ノ如ク

豆腐ハ生素ナリ豆油皆腐皮ニ充故ナリ

外 餛飩 救荒野譜 即チ時珍食物本草ナリ

本ノ救荒野譜ト云ハ珍ノ食物本草ノ増ナリ今ノ救荒野譜ト云ハ食物本草ノ略ナリ

餛飩ト云ハ コギヤンニノ如ナリ餡ノ不入モナリ

外 饆饠 清確類書

モチ米ニテ細ナル麪ヲ孔ニ製ズルモノナリ

外 飫餕 時珍食物本草 コギヤンニノ如ナリ餡ノ不入モナリ

外 餲饠 清確類書 モチ米ニテ細ナル麪ヲ孔ニ製ズルモノナリ

臭臭 ヒグワシキ臭ノ物名ナリ 唐ニ冬至ヨリ五旬ノ臭食ト云テ火ヲ焼テ葉ヲ故ニ前ヨリ品々食物ヲ製シテクヒナリコレヲ物名ニ臭臭ト云故ニ乾菓子ノ物名ノ

寒具トシテヨキナリ○環餅ト云ハ丸ノ曲ニテ作リ名ル菓子ナリ○餸子ト云ハ今俗ニ云
軽ロキノ麦ナリ○油堆 時食物本中ニアリ コレハ糯米ノ粉ヲ以テ餅トナシテ内ニアンヲ入レ油ニテ
煮ル名ヲ云ナリ

浙二汨

汨ト云ハ ヒロ水ノ下ナリ二番目ヲ用ユルヲ浙二汨ト云ナリ浙ト云ハ米ヲ洗ウ名

和品 コカシ

祇花ノ香煎ト云コレナリ祇園コガレト云ヘ唐ニハ仙茶ト云モアリ呉氏
食物本草ニ見ヘリコレモコガレニ近キモノナリ

麹

ホシイヽ

糯米ヲ蒸テ乾ル名モナリ仙臺ヨリ多ク来ル又河内ノ道明寺ヨリモ出スナリコレヲ道明寺云ナリ○蘓恭ノ説ハコカシノナリムキヲ粉ニメハツタイトモ云子麦ヘ
蔵器説ハホシイヽノナリ

神麹

神曲ハ五月五日六月六日或ハ三伏日ニ製ス其ノ日ニカギラス温日ニハイ
ツニテモ製スルナリ古名ニ久スリコウレト云ヘ今ハ通名ナリ麹ニテ製スルモノナリ茅店ニテ作ル
モノ下品ナリ手製スルガ良ナリ精ノ細日神麹茶下ニ解ス可参考

菜蔬類

蘿蔔　クイコン　ラホ子　古名　品類多キモノ国ニ土地ヨリテ色ノ種アルモノ

大和本草ニ有歯器ニテヲロシ久ハ最辛トイヘル有歯器トイヘルハワサビヲロシノコトクニ

モノヨリ漢名萱椹ト云ヒ用雅字ニ見エタリ

○大大根トイヘル別種ナリ○根州宮ノ前ノ大根トイヘル京ニテ呼ヒナリ千大根ニ

メヒリ又穂漬ニモスルヨリ午房ト呼ヒ白色ナリ味ヒシ煮テ和セ乾ス塩漬トモシ

テ硬キモノナリ○三月大ニシトイヘル三月ノ二食スル大ニシヨリ根大ニ長シ冬ノ大根トハ異

ナモノヨリ根上ニ生ガルモノナリ○モチ大根トイヘルモ三月大根ノヤウナルモノナリ三月大根ノ

漢名ヲ陽花蘿蔔トイヒ江陰懸志ニ載セリ

○伊吹大根トイヘルハ江州伊吹山ニ自生スルヨリ根ヲ採ラウスルトクレテ先キニ萬ノ尾ノ如ク

大ニスルモノヨリ土ノ痩セ虚ニテモ根大キナルヨリ根ノ形短ク多ク

細リテ久ヨリ生食スレハ苦味ヲ黄食スレハ味甘キモノニテコノモノハ漢名ハ

洗蘿蔔トイヒ細ニ胡蘿蔔ノ葉解ニ出タリ

○尾張大根トイヘル　コヤシヲ大ニシトシテ尾州名物ノ中ニ

ミテモヤハリヲヒテキモノモアリ○紫大根トイヘルモアリ別種ナリ大根

モチリ茎モ根モ花モ紫色ナリ根ハ皮常ニ赤白キモノアリコレハ漢名ヲ紅蘿

蔔トイヒ本草細目ニアリ○又葉ニ刻歯多時往ト一種アリトイヘルハ西瓜大ニシト

イヒテモ漢名　花蘿蔔トイヒ本綱ニアリ

○蓮羅（レンロ）大根トイヘルハコレハトウチサノ品類ナルトウゲサ畔菜トイヒ

ニ火煙菜トイヒ今ハサラニナトイヒ朝鮮大根トイヘルハ形状トウモサニ

赤色ニテ美ナリ花実モトウチサニ同ニテ此根ハ人家ノ垣ノ如ク

白色ナリ赤白ノ交リタル甚美ナリコレヲ又大根ノヒシ近年種理ニ用ユルナリ

久盛　又モノナリコレヲ芸薹ニ充ルハ非ナリ芸薹ハ冬ハキモチ

○夏大根トイヘル夏生長スルモノアリ

国立国会図書館　タイトル『大和本草紀聞』　請求記号 特1-2022

ガラス使用

野蘿蔔　救荒野備　野生ノ大ナルヨリ作リ出ルモノニテ大小ヨシ京ニテ蘿蔔ト云ヒ處々ニアルモノニテ自然生シ食用ス奥摩ノ方ニ多シ根ノ形状ニ刃大根ノ形ニテ大根ノ方ニ近シ生ノ大根多クハリコシ等ノ野蘿蔔ノ中ヨリ山城ノ中地山ニモ自生大根アリ

菘　トウナト云モヨリ菘ヲナト云ハ訛リナト云ハカブラノ中ニテ根ノ少サキヲ云シ菘ハトウナトヨモノヨリ小ク葉ノ形ニテ同ジヨリ小ク又カブラニモ似タリ京ニテ菜ト云ハ油菜ノ事ナリ漬物ヲ蓮花白ト云ニ三品アルモノニシテ京名物ニツケナト云ハ京ニモ東寺辺ニテヨリ出ルヨリ云ヒ正品ナリ云ハ水春薹ト云リ水菜ト唇ニモ和漢通名ニ水菜ノ美ナルヲ云ヒ菘ノ美ナルヲ云ヒ天王寺カブラニテカブラノ中ニテ根ノ少キヲ云シ菘ハトウナト云ヒ天王寺カブラニテ多ク出スナリ漬物ヲ蓮花白ト云正字通ニアリ○近日菜ト云ハ陰名ニ九英蔓菁ト云シ○イナカノ京ナト云ハ公ケナリニロナヒ云菘ニ九心ニテ根食用ニテ葉ハ食用ニスコシ

水菜ト云ハ數莖叢生スルモノニテ葉ノ色淺緋色ニシテ狭長ニ中ニモ地ノ変スルト苦味アリ云ヘリ

○ハタケナト云モ京ニ多キモノニコレモ名物ナリ○下総ノ葛西菜ト云ハ京ニ多キモノニテ近江カブラ近年ハ京ニ作リ出シ○勢州ノ手カブラモ長サ二三寸ニモ寸ニモアリコレモ蔓菁ニ似テ根大ニシテ味モ劣レリ○大和本草中ニ陳州ノ白菜ト云アリト云ハ油菜ノ美ナル○又一行菜アリト云ハコレハ普ク大ニメ根ハ食用ニセザルモノナリ

蔓菁　カブラ　カブラナ　又蕪菁ニモアリ根白色ナルモノ長ク蔓生スルモノアリ根莖繁ルモノハ多ク作ル二年ヲ経テ開花シテ江州ノ辺名物ナリ京ニテ聖護院ト形状変生スルヲ見テ知ルベシ又土地ニテ見テ知ルベシ本草ニ紫菘ト云名アリ同ナリ野菜ノ充テ焦シ然レドモ菘ノ変ニハアラズ○和本草ニ又白色ノモノアリト云ヒガ即チ蕪ノカブラナリ又カブラニモ莖葉ノ長ノ九モノアリ品類多キモノナリ

国立国会図書館　タイトル『大和本草紀聞』　請求記号 特1-2022
ガラス使用

○又俗本草ニ川芎ノ花ヲヒラキ四月ニ実ノ結フト云ハ蔓蕎之ヲ誤ル ○赤ガラト云ハ根大ニメ尾ナシ因ノ為メ下ニラズベヨノスワルモノニ故ニスワリガラトシテ則チ天王寺ガラノコトリ天王寺ガラハ真物ニテ尾アリ真物ニテ

油菜　ナヅナ　通名ナ本草綱目ニ無ニ蕓ト出レテアルモノコレナリ八分ケ

菜ニ属セリ油菜ハ枝多キモノ上品ニテ故ニ作ニ蕓同ト入テ枝多クナルヤウニナリ別種ニ而無枝多ク実種アリコレヲハカレワトニシテ上品ナリ実ノ小ニシテ臭ノ俗ニセフレトニ非ス

芥　カラシ　佛書ニ芥子ト書キテケシト訓ズルハ誤ナリ

白芥ト云芳香臭モヨリ実ノ色ハ褐色ヨリ粒粗シ食用芥子ハ粒細ニシテ色黒褐色シ白芥ト云ハ常ノ黒芥子ヨリ薄ク色キモノナリ○大蕓芥ト云アリコレハ

即チ春不老ト云ヒ仏蔬疏ニ見エタリ本綱目ニ辣蕓芥ト云コレニ蕓ニ二ヲ牛リ蕓ニ辣アリ根大キク筒前ニテクカナト云シ蕓ニ苦味アルモノヲ蕓ノ食用ニスル蕓生ノモノモムト臭気アリ根ハ食用ニナラズ○又筒前ニテ春不老ト云アリ蕓ニキレコニ深ノ枝アリ至極形美事ニコレタカナト同シコレクナリタルナトニシ漢名花芥

○イラナト云ハ蕓小ニシ紫色ヲ蕓キレアリコレモ漢名花芥ト云ニ○実多ク附テ食用ニナルヨリ根食ワレズ黒芥子ト云又小芥子ト云ヒリ二名尾濃名ニシ綱目次ノ附方見エ

蕓　ユ　フタモジ　蕓ハ小蕓ノ麦門冬ノ如ク丸クナリ

切レ目臭気アリ年中繁茂モノニ年ウエレバ年ニ繁茂スルヨリ花ハ白シビル花似タリ花後実生スル蕓子ト云テ蕓用ニスル○又俗ニカイトト云アリコレハ冬蕓枯ルヨリコレ蕓ノ一種ニ別漢名ナキモノナリ

葱　キ　今云　ネギ　ヲブカノーナリ

本草ニ大葱ト云名ナシ莖葱ト云名アリ鏑ノ記府志ニアリ筑前ニテ大ネギト云ロワケギト云葉細カニシテネギヨリ小草ニ京ニ入多作ラス実ナキモノナリ根ヲ今ケテ栽ルモノ故ニワケギトシテ漢名ヲ凍葱ト云本草個目ニアリ

ロカリギト云根ヲ残シテ葉ヲ刈リヲカリテ取ルナリコレ春ニ成テ故ニ実子ヲギ云漢名濮葱ト云本個目ニアリ京ニテ多食用ス春ニ成テ実子ヲギ青葱ニ充ガヨシ

小葱　アサツキハ子ギ形状ナレ共葉細カニシ漸ノ二分ホドノ丈ニテ三月上巳ノ節句ノ頃ヨリ食物ニ吉ヨリ本草ノ朝京ニ入食用ス三月已後強ノテ食用ニナラズ春食物ニ吉ヨリ本草ノ朝葱ニアサツキト云不充レ和産ナキモノニ広東物ニ絲葱ト云モノアリコレニ甚ダ近キニアサツキモトノ漢名難知先ノ糸葱ニ充テ佳シ小葱ハ群芳譜ニ又漢葱ト名ケテアリ

薤　ラウキャウ　ラニキャウ　玉篇

コレ一通リノラウキャウト云モノリ外カニスト云非リ鬼ニ似ズ花後ニ実ルモノニ実ナレト云非リ根ハビルノ如キモノニ花形モノビル同シテリ際紫色花リ美アトナルモノニ

蒜　ニンニク　本草ニ大蒜ト云ガニテアリ小蒜ト云ハコビルノビルヲ採テ圃ニ作ヲ東国ニテコビルノ千本（チモト）ト云シ一種ノ九ハ未ニ実アリト云種別リ葉曲リ花故ニ又クビヒル云ニ

天台蒜　行者蒜　即ケ個同ニ若葱ト出シ又モノアリ

本ト天台山ニ自生アリ今ハ花ヲニテ花ノ黄ニス臭気アルモノリ漢名若葱ト云シ仏家ニ辛中ニ日本ニ佛氏モ臭気ヲ故ニ可食ト云非リ葉紫夢ニ葉ニ似タリ中ニ寸斗モハ長キハ三寸斗アリ長キヒノ形リ大抵三葉ヲ互生ス芝一天ヲ斗リニ

国立国会図書館　タイトル『大和本草紀聞』　請求記号 特1-2022
ガラス使用

シテ上ニ花集リ生ス ノビルノ花ト同形ナリ白花ナリ又紫ノ花モノモアリ 裏枯ルコレハ救荒ノ茗葱ニ充テ佳ナリ

野蒜 東医宝鑑 ノビル 本草綱目ニハ山蒜トアリコレハ路邊ニ多キモノナリ春多ク生ス葉ニ一角ニ又青色白キ粉付キタルヤウナル葉色ニ三月頃早人取テ食スコレヲ取リ来リ圃ニ作ルヲ小蒜ト云ヘ

薑 ハシカミ ト云ハ薑ノ洲ナリ 生姜(セウガ)トモ云ナリ 生姜ノ音軒ナリ京ニテ裏ノ茗ハ芽ヲ入ビカミト云大和本草ニ大小二種アリト云小ト云名ハ常ノ食用ニ充ル處ノモノナリ大ト云ハ長崎ニテ ラヽシヤウガト云モノナリ別ニ作ル辛味ナナシ沙糖漬ニ用テ佳ナリ 衣裳書ナドニ血付キタルヲ生姜ヲスリ碎キテ口中ニフクミテ洗ヘバヨクラケルモノヘ

蓼 タデ 小キ タデニモ品美多キモノナリ早ク生スルハイヌタデヘ コレニモ品美アリ

○豊前ノ御本(シモト)蓼ト云ハ名産ナリ辛味至テ烈シ ○彦山ノ蓼ト云ハ葉大キヽ小蓼ニマサレリト云タルコタデハ常食用ニ充ル處ノタデノヿヽ細葉ヽ京デ眞ノタデト云 又柳タテト云ヘ柳タデノヿヽ本草綱目ニハ青蓼ト云ヘ 水蓼ト云ハ大ナリ又タデト云モノヽ味辛クナキモノヽマノ水蓼ヲヒコタデニ充ルハ非ヽ 水蓼ト云ハ時珍ノ説ニハ ヲヽイヌタデニ充ルヽコレヒコタデト別ナリ

○唐蓼ト云ハ藍ノ葉ニ似タモノナリ大キ葉ヽ長ヽ紫タデ任ニ云ヘ漢名ハ紫蓼ノ本綱目ニアリ長スレバ葉半分紫色ニナルヽ

山葵 ワサビ 山葵ト云ヲワサビ与ル非ナリ漢名ハ山薊菜ト云 救荒本草ニ見ヘタリ自然ニ生ハ深山ノ谷川辺ニ多ク番ノアル処ニ交リテ生スルモノナリコレヲトリテ市中ニ栽テヨク生長ス陽地ニハ悪シキナリ陰地ニ栽テ良シ葉ハ歌冬ノ葉ニ似テ女シク居遠アリ春早ク花付クナリ多クラレノ如クニテ大ヽ四弁ノ白花ナリ后ニ小キ莢生ズ此根ハ節アリテ大キヽ石蒂ノ根形ニ似タリ根緑色ナルモナリ味甚辛シ食用トス

今ウドンナドニ用元モコレヨリ山葵ニハ和名シ

外

番椒 特食物本草

トウガラシ　コウライゴシヤウ

ソノ本草倭国ニテ食物本草ニヲル若木ノ別集ニ春ノ雛ゼリトウガラシ天近年ハ品ヲ
アルヨリ実ノ形異形元ヨリ円キヨリ長キヨリ赤キヨリ黄色元モヨリ指大サニヨリ円ク丁ヲ
五ツ筋アリコレヲ輪切ニスルト櫻ノ花ニ似ヨリ故ニコレヲ櫻トウガラシヨリ耳トウガラシト
云モヨリ辛味ヲコレテ淡味ヨリ甚外形ニナテ針トウガラシ名ノミアリ瓜ナドトムテ色ヲ名ノ
ルヨリ本ト四本ニシ秀ヲ云朝鮮從ノヨリ本邦ニ出ルト和本草ニモ云ヘリ

胡荽

コエンドロ　葉名ヨシ　全体ノ草シ黄香ヲ云ノ葉形ニ陳ノ葉ニ似元モヨリ臭気アルモ故ニコレヲ用元ト外臭気ノ能ノ香リ除ノモヨリ八月ニ実ヲ熟キテ習ヒ支生長ス実ヲ採リテ茶用ト丸キ実ヨリ熟スルトニツニ分ル故トワレルモノナリ

越瓜

ユウリ　京　白ウリ　京都ノ名物ヨリ江州ニウユヲ大デキスヨリ已土地ニヨル大ニ見ヘタリコレヲ本草良漬ニスルヨリ此ノ越瓜ニ二品アリ　ウス青キアリコレヲ白ウリト云ヨシ白キノ元ヲ白ウリト云俗ハ通メアサウリヲモ白ウリト云ヨリ

外

菜瓜 救荒本草書

青ウリ　京　他國ニテハケウリ　丸ツケウリ　ヒヨリ　漬物ヨリ江州ニウユヲ大デキスヨリ已ナウリト云　形瓜ノ菜瓜ノ如ク多青キモヨリ肉青白シ熟スルトモ黄色ニナラス
州ノ方言菜瓜ニ符合ス

胡瓜

キウリ　今ハ京モ多キヨリツケウリハ京ニハ名作ヨリキウリハ今多ノ作ルヨリ早ク実ルモヨリ形状シコタルモヨリ故ニ略ス

壺盧

ユウガホ　ヒサゴ　惣名ヨリ壺（コン）作壺（コ）テ佳ヨリ

ヒサゴノ実ノ花ハ色白クメヨリ花開ク朝ハ桐ノモノ一日花ヨリコレヲ品実ノ分ツ

国立国会図書館　タイトル『大和本草紀聞』　請求記号 特1-2022
ガラス使用

長八〇瓠　方ユウガヲ　長ツブベ

ズルモノ長サ六七尺ヨリ各物ヲ帯ビ産ズルモノ二尺ヨリ

大サモノヲリ

○懸瓠　ヒサゴウリノ　下ニ丸キ瓜アリコレヲ

又ト柄ヲ上ニデ丸リ故ニヒサゴノ如シト云リ

○匏　フクベ　炭トリニスルフクベリホソキモノ如キモノヲリ

○壺　フクベノ丸ク扁キモニシテ大ナルアリ又丸クアリ又

○蒲盧　今ノヒサウノ如シトミヲコレリ又牛

十荊蘆ト云老熟全事本中ヨリ又両ヨリ帯ヲ生シヨリ漢名　天生三寸荊蘆ト云

同書見エタリ○乾瓠　ヨリ長フシテ以テ製スルモノヲリ丸ク

ニ妒ニ遥ニヨリテ　瓠高ト云リ　劉熙ノ釈名ニ出ヅリ

○苦瓠　ヨリ本草ニモアリヒサウノシノイヲリヨリ云説アリヒヤウタンノ惣名ニテリ味苦キモノ

故ニ苦瓠ヨリテ

南瓜

ボウブラ　今京ニテ誤ヲカボチヤト云モノコレヲリ丸ク扁ノ収ニ七ダアリ

初ハ緑色後赤黄色ニナリ大キナルモノヲリ南京ボウブラヨリ云アリコノモノ本ハ

形壺形ヲリニヨリテ丸モノヲリコレヲ頸ヒサゴト云リコノ方ハ多ハ大ノ小ニ又モノヲリ味甚上

品ヨリ漫名ヲ　番南瓜ト云群芳譜ニヨリ江戸ニテ唐ナスト云リコレハ番南瓜ノ

一種ヲリ

冬瓜

カモウリ　白キ毛アル故ニ名リトヨリ云ヒ冬瓜ト書ケリコリニテ冬ニ中リテトケ

熟シテ久ニ堪ユルガヨキヨリ　ウリ皮冬ニ入ト白ノ粉ヲ

早リ作リテ出スヨリ秋ニナリテモウモノヲリ本ニ冬瓜ト云ハ今ノ

キモノヲリ唐モ長キヨリ云他国ノモノモ長キ冬瓜アリ京ニテハ作ルモノカリ丸ノ丸シコレ

国立国会図書館　タイトル『大和本草紀聞』　請求記号 特1-2022
ガラス使用

地ニ丸ケリ高サモ九キモノ中一尺二三寸モアリ水仏ノ新ケル江州ニテ作ルト長キ

絲瓜

（イト　トハ　甜スルト中ニ糸アリコレガ出ル故ノ称時ニ可塗可膳トモ）

ヘチマ　長ケレバ一丈ヨリ長ケレバ一丈ニ足ラズ　薩州種ヲ多ク九月ニ二七尺ホドニナルヲ　ハモハ糸斗リナルヲ以テコレヲ物ヲ洗フニ用ヒ又ハ足ノ裏ヲ摩スニモヨキモノト大和本草ニモ出リ

蕨

ワラビ　此事三代実録ニ元慶三年ニ蕨ヲ採テ民ヲ賑ス事アリ

芽ヲトリテ食用ニスル事多シ乾物ニシテ高キヨリ生ニテモ食用ニスル事アリ奥州出羽ノ産上品ニシテ京都東国ノ産ガ大ニ劣ル

国ヨリワラビノ多クサズセンマイヲ出ス多キヨリワラビ粉ヲ製法ハ葛粉ノ如シ古ヘハ此粉ヲトリテ餅トセシ事アリ粉ヲトリ去リシ滓ヲ以テ縄ニ作リシ事アリ

紫萁

ゼンマイ　コレハワラビト同時ニ生ズル事多キモノナリワラビハ山ノ平地日ヨリ多ク慶長年大キニ別ニ花ガ開クモノナリウラビニハ花ナキモノナリ此苗モワラビノヤウニ巻キテ出ルモノナリ白キウブ毛ヲ採テ乾ラシテ京ニ東北国辺ヨリ多ク来ス上品ニシテ高ニ出ルモノ下品ニシテセンマイハ苗紫黒色ニシテ形状知レタルモノ故ニ略ス苗ノ嫩ヲトリテユビキテ灰ヲマブシテ乾シテ乾ケバ黒褐色ニシテ固倍物脊ヲゼンマイト訓ズルハ大ニ非リ物脊ハ別物ニ金色物脊ヨリ根ヲ石ニ枝ヲ木ニ大キナルモノニシテ物脊骨ノ如キ形ノ根ノ金色ノ毛大キ処ヨリ枝ハ毛ナキモノナリ

外薇

イノデ　イノデヲ薇ニ充ルハ思ヒ誤リテイノデト云ヒ毛蕨ト云ナリコノ薇ハ前ゼンマイノ如キ毛蕨濱名ヨリ名医美事ニ来ル

山陰地ニ丸モノニシテ高サ一尺ヨリ草ノテツペンニ葉ヲ二似タリ一採ニ葉多ク出ヅ葉ニ茶色ノ皮モ如キモノ多ク付キテ丸モシ葉ノデル時ハ

形狀ノ手形ニ似タリ故俗名ニイノデトイヘリ葉前ニ六七手ヲテ食用ス
詩經注ニハ薇ヲ イノデニアテ又ハ兎シ大和本草ニハ薇ヲ 野
薇トモ酷ゼンマイヲイフト前ノ蔓莫ト同物ナリ本ナニ時珍説ニハ薇ハ野
豌豆ニテアリコレ是非ナリ

芋

イモ 惣名ナリ 又クワトモ云ハ京ニテ云ナリ葉前ニハ八ナリ
大和本草ニ青芋アリトイヘハ京ニテ云里イモ土ノイモ トモニナリコレハ陰地ノ圃ニ
生ルナリ高サ二尺位莖長ク食用ニス莖ノ色青色ナリ子根ヲナリテ食ス
用ヒカタシ芋モ九七ヒカリ世ニコイモトヨヘリ青芋 青芋
トシテ圃ニアリ又里芋アリトモ云ハ京ニハナキモノニ 西国ニ沢山ナリヤハリ里イモ
ノ一種ナリ葉ニ黒ミアルモノナリ青芋ノ一種シ別ニ濕名ナシ
芋魁トハ芋ノ根ニシテ食用ニ要シキモノナリ○大芋アリ子ノイ
モトモモハラ芋ノ根ノヤウノイモナリ子ヲナシテトウノイモハ莖
ニ生シ其ノ根大キモノナリコレヲ又別ナリ濕名ハ和国ニ云 君子
芋ナリ○和俗蓮芋トモ云ルモノ多ハ葉ノ如キモノニテアリ莖ハ白シ
アリテ養味ハナキモノシ時生食スル芋ハトモニ
和名ニシテ栗イモトモ云本草ニ和国ニ白芋ト云名アリ即チコノ蓮イモニ元ヲ俱シ
○唐芋トモ云名モハラコレハ前ハスイモハ莖白メカリカライモノ方ハ莖大ニシテ白ヨリ
今俗草ニモ長大ナリコレ京ニハナシ葉形ハ常ノ芋葉ト同ナリ濕名未詳
本草綱目ニ通芋トモノアリ子唐芋ニ近キモノニ
○并芋トモ云ルハコレハ水田ニ種ルヨリ生長ク本草ニ云
水芋ノモノナリ又旱芋トモ云名アリコレ青芋イモノ
莖ナリ本草ニ云 紫芋 即チトウノイモノナリコレハ并川祝儀ニ食スルカシラ
芋トモ云ハ子紫芋 根ナリ味ヨキモノナリ秋ハ川ヘヨリ子ヲシウズ出ルヒ子ハカナキモノ
ナリ味ハヨノ栗ノ味ノ如キモノナリ○野芋ハ毒アリトモノハコレハ クワズイモ 石イモ
ドクイモ 京ニ自生シ四国辺ニアリ腹国ニ多シ土佐ニアリ名物ト弘法大師ノ画像

国立国会図書館　タイトル『大和本草紀聞』　請求記号 特1-2022
ガラス使用

アリテ今ニクワズイモト云テ形状ハ里イモ如ノ茎ノ葉ヲテモヤハリ堅キモノヘ食用ニナラズ蕾茎ニ青色根モ堅キモノ又常ノイモヨリ二三年トズシテ置ケバ毒アリ本草倭名ニ野芋トニヨリ二物和漢同名ニテ異物ノ大和本中ニ石ノ蓮芋唐芋赤芋ハ本草ニ不載ト云ハ祝ヒヨリ即本草ニ名目アレヨリ

慈姑　クハイ　白根多ク集リ生ス白根ノ先キニ子デキルモノヨリ苗ヒテ枯ニノゾム向様ヨリ子多シ春多キモノヘ本條ニ田子ハノ字ノ条ニアリコレハ悪キヨリ母子ニ子ステリコテクリヲシバ来年又コレヨリ生ズルモヨリ○ヲモダカト云ハ食用ニスヨリクワイハ花付又モノ同ニ花付コモアリヲモダカハ是ト別ヨリ云ヘルヨリヲモダカト云ハ雄ノクワイハ雌ヨリ花饒ニ慈姑花ト云名アリコレハヲモダカノイヨリクワイニ非ス○一種スリタルワイト云ヲヘルモノハコレハ一種ナリ苗モ吸田ヨリ光ヨリ名物ヨリ吸田ト云根州邑名ヨリコレヲ京ノ豆クワイ味ヲモモヨリ別儀名ハナシコレ即チ慈姑ノ一種ヨリ

佛掌薯　鎮江府志　ツクイモ　山芋モト茵形同ニシテ根カ長ク手又モノ石中土ヲツク子ヲ如チ形ノモノヨリ大里ノ形ニ似ヲモノモアリコレヲ大里イモト云ヘリ○国俗字治芋ト云ハ今デハヨリ今宇田芋トイモ云アリヲ倭ヨリ佛掌薯ト云イソウチ形ヨリ大キ根扁クシテ枝アリ雞頭ノ花ノ如扁リ枝アリコレ佛掌薯ヨリ九ハ一尺ホドアリ小九モ人四五寸ヨリ本條ノ品美ヨリ

外
蕃薯　閩書　次条ニ耳藷ト云ト同ヨリコノ本條ハリウキウイモノ中ノ上品ニテ赤イモノヨリ薩州ニテボケノミモノコレヨリ皮薄ク赤キモノヨリ黄ルト肉白メ砂糖ノ味アリ蕃薯ヨリトモ美ヨリ別ケテ名ヲ美赤イモノ上品ヲ云ヨリ本草ニ朱藷ト云名ヨリ赤イモノヨリ閩書ニ文旅ハ本條ノ赤芋ヲ名ニ充リヲ然レドモ赤井ト云名ヲ付ケハ朱藷ト云ガ良キヨリ

耳藷　リウキウイモ　サウマイモ　蕃薯ノ美ヨリテ大和木中ニアリ

国立国会図書館　タイトル『大和本草紀聞』　請求記号 特1-2022
ガラス使用

コレハ葱ニキリ赤クモノ葱ニテトヨテナラン前條ト葉モ同ノ唯根色ト味トノ異ナルノミナリ　モチバケリ　赤バケリトイヘモアリコレ栗ニ近キトキニテ云モノナリ京ニハ下品ナリ葉ノ内色黄ニテ大キク根香ニテ上品ナリ冬ノ中ハ色白キナリ本暖国産ナレバ今ハ寒地ニモヨク育生スルナリ是亦葱ノ一種ニテ救荒ノ利益アルモノナリ

巻丹　ヲニユリ　数ノ中ニ沢山ナル雑草ノ中ナリ茎高サ四五尺紫黒色ナリ葉互生ニテ多ク付クモノナリ本葉ヨリ間ニムカゴヲ生ジ秋ニナリテ其ムカゴヲ取リ下ス又茎ノ末ニ花付クハ雑ニシテ紅黄ノ色大キナル花ナリ花ノ裏ニ斑点アリ○大和本草ニ百合ハ白花ナリト云ハ非ナリコハ本草ニ白花トシテアルヲ故ニ白花ナリト云ツ然レドモ百合ハ白花ニテハナクシテ実ニ紫花ナリ白ニ紫色ノ筋アルナリ又紫花ナリ山中ヨリ尚咲ニトテ上ニ花ビラノリセズニスモノアリ本筒ニシテ上ノ方ニラツナリ横ニ花ムキテ開ノ本葉ハセズシテ花ノトニ実付ノムカゴヲ葉間ニ付クモノハ巻丹ト

巻丹花秋開ノ百合ハ花夏開クモノナリ百合ハ味苦シ日本ニテ料理ニスルハ本ト百合ヲ用ユ今ハ青物屋ニテノ鬼ユリヲスルテ百合ニ偽ケリ依本ナニハ百合味苦ク巻丹味甘トイヘリ

黄蜀　ケイモ　コレハ今俗ニ云　何首烏ノモコレナリムカゴヲトリテウエ置ケバ翌年モノニ芽生ズコレモ山芋ノヤウナルニテリン葉実ニ似タリ大サ五寸ヤヽアリ昼ニ閉ヂ夜ニ開ク花ハ山芋ノヤウニ細キ花付ク穂ニナリテ花形山芋ニ向ヒ実ハ花ヨリ外ニ葉間ニ生ズ長ケ一寸ホドニテ九ツアリコレムカゴナリ春立発ムカゴヲ久ヽナリテ見ハト甚大キニ成テ有リコレ食用ニスルモノナリ味佳ナリ

萵苣　チサ　漢テ千ヒロト云ヘリ葉色白布アリト本書ニ云今ハ白布ナシ又紫ナルモノアリニコレハ紫苣ト云ヘリ萵苣ハ若葉ヲ食ス黒ノ紫色ヨリ長ク青色ヨリ花実ニ常ノモノト向ヒヨリ又葉短布アリ云ヒコレ等ノ千サノヒヨリ葉

多ク出ヲ千ハトミより善長ク中セマキモノアリコレヲ雉ノ尾ともり高ニアリ常食用ス
ルナリ千ハ臺蓮ノ出ガ上品ナリ外品美ナラズルモノナリ

蛮種

紅毛萵苣　ラランダヂサ　キクヂサ　花ヂサ

紅毛種より萵苣ノ一種ニテ濮名別ニハキモノナリ葉常ノヂサト同クキレコマ深
クキレノカズ多キモノナリ冬ノ間ニ苞リテ春重リテ葉ノ中ニ実ノ気ソ
ナリ生食スル常ノヂサヨリ味ヨシ実ニヨリ畏レヌモノナリ春ニナリテ莖ニテ三四尺ニ成ル葉間ヨリ枝出ルナリ下ノ葉間ヨリ
思ヒノ外多キモノナリ春ニナリテ莖ニテ三四尺ニ成ル葉間ヨリ枝出ルナリ下ノ葉間ヨリ
長キ枝出ル蒲公英ノ如キ形ノ花一輪ヅヽ付クナリ一日ニ一輪ヅヽ開クル色ナリ朝
斗リ花ヲ盡ハ色変ス花ヲトワタニナラヌモノナリ花ノ下ニ心キニ実付ノヂサ常葉
アルモノナリヨノヂサリメ繁ナレ花大サモ蒲公英ノ花ノ大サナリ

菠薐　ハウレニヤウ　ハウレン　七八月ニウエトニテ本書ニアリ莖ヒモイウ

ニテモ能クハエルモナリ花ハ春ヨリ実ニカケテ開クノ莖ニ高サ一尺余ニ九
ナリ葉ノ先キ尖リ葉ノ本ト左右ニ尖リアリ互生スルモノ莖ノ立ヌ中ノ葉叢
生スルナリ雌雄アリ花ノ方ハ雄ナリ雌ニハ花ナシ京ニテハ舎リ食用ニセベ

款冬　フキ　款冬花トモハワキノトウノコナリ菜用ニ莖ヲ用ユ花園
ニテハ菜用ニハ悪シキナリ本草ニ充ツコレヲ不充トニハ反ラ従リ
ナリ和本草ニ食物本草ノ註ニ不見人フキニ非ストニトモコレ悪シキニ食物本ヤ
註トニ文政ニ細目ニハ文ナリ〇銭フキトニハ葉ノ出ヤリノ細葉ニヨリ
順和名抄剛涙集ニ款冬ヲ山吹トニハ非ナリ花ノ山吹トニハ鞘菜ニテリ

黄瓜菜　メビラコ　コニアルハ今ニ云鬼ゲビラコニテモナリ濮名、松荒
本草ニ云　黄鶴菜ナリ今メビラコトニハ細目ニ云　雉腸草ノナリコニ云黄瓜
菜ハ和名　ニガナトニモナリ即チ黄花菜ノナリ

鬼ゲラハ初生蒲公英ヨク似タリ蓮生ノ中ヨリ故ニ佛坐ト云ト和本草ニ
云コレハ悪シキヨリ鬼ゲラト名ケシモアリ同ノ処ニ佛坐ト云ハ偽ノ佛ゲイ
ヨリ鬼ゲビラノイラ能ク坐ト云ハ悪シ、

茄　ナス　ナスビ　長ナスト云ハ一尺ノ余モアリ蕃前ニアリコレラ京ニ
種モト短ノモアリ京ノ長ナストイヘドウノ〳〵立ヌホドニモアリ皮和ラカ
リコレ長ナス二モ元テ佳シ○本書ニ短アリト云ハ常ノナスノコトリ扇子形ニモアリ中七分
アリ伊予松山ノ名物ヨリヨギナストヨシ京ニテ作ルハナス皮ヲ厚シ本書ニ白茄子アリト云
ヘコレハ皮ノ白キモノヨリ熟剖ニクタキモノヨリコレモ長キモアリ周湯雑羹ニ白茄トイヘリ
青茄トヨリテ青キモアリ白モ青モ黄ハト同色ニテ味モ同ケリ
扶木集ニ哥アリ　秋ナスビヲサ〳〵ノナスニツケマゼテノクナニラノトモヨメニクロスナ
秋ナスニテナケレバクニナラストヨシテコレヲマキトヨコニアラズ

鼠麹草　ハコベグサ　今ホウコグサトモヨフ
白高ニ似テ白シト云ルヲコノ白高ト云ハ　カワラホウコノコトリ今云　萩コレリ
ハヨリケルハ四月ニ黄色ノ花アリ本書ニ歳時記ヲ引テ中ニ云誤古雅ト云
ハ今俗ニ云ヨモギモチコトリ三月節句ノヨモギモチニ用ルヲ三代實
録中ノ文徳実録中ニ見エタリ　馬歯莧ハスベリヒユコレハ土色ノナリテ丸ニヨリテ
立行草ト云名唐ニモアリコレト本書ニ云ヤウトヨリハ是也ト云ルハ別物ナリ

苦菜　漢名ナリ　ニガナト云ハ別ニアリ漢名　黄瓜菜ヨシ
苦菜ト云ハノケシトヨリテ尻ノ出ニ似テ葉ニキレ目多シ葉ノ首ニ
アリケシノ如キ蕾ニテ故野ケシト云花色黄色ニシテ花形チサノ花
白色ニテ花後繁ニリテ飛モチノ花ノ如モチサノ花ニ似タリ花ノ下向シ茎ノ中空虚シ切ト白汁出
ル春元ト花付ノ秋末ニテ春花開クモアリ又秋ノケシト云モアリ

国立国会図書館　タイトル『大和本草紀聞』　請求記号 特1-2022
ガラス使用

甜菜　テンサイ　京ニテトウチサト云　毎川ニ生ズ

葉菠薐ヨリ大ニ先キニ尖リ甚ダ長キ葉ヲ叢生ス春ニ至テ葉ノ間ヨリ茎ヲ抽ンデ葉互生ス細花付キテ実熟スルト茎枯ル　葉故ニ醤油ヲトシニ煮テ食スルモノナリ

故ニ味不宜ト本書ニ云リ

莧　ヒユ　京テ俗ニテ　ヒヨウトモ云

○白莧ト云　葉色緑色ナリ云白キトニアラズ七月ニ生ズ霊祭ニ用ルモノニ白莧ヲ雞冠ノ葉ノ如キ色シ高サ四五尺ニモナリテ葉ヲ互生ス茎ニ同皮ニ花付ケリ

○班色莧ト云ハ　秋江山ニアルモノニテ茎紅紫色高サ五寸ホドヨリ葉細サキモノニ野生ナレド食用スルモナリ俗ニテ莧ノ実子ハ雞冠ノ実子ト同ケリ細ノ黒キモノナリ漆ニ塗リ光如キモノナリ　○赤莧ト云ハ　紫色赤クテ丸モノニ云今紫莧ト云アリ已ハ漫種ナリ葉色紫ナリ紫穂ノ如キ色ナリ前ニ云白莧ノコトクト云ナリ

莽　ナンテ　秋ヨリ苗生ズルモナリ　正月頃ヨリ花開ク実枯ルモナリ

月令ニモ　藜莧枯ト云ヘリ本書ニ又莧莫薺ニ似テ毛アリト云フノ莽莫ト云ハ

ラナンテ　男ナンテト云テ苗モ高ク葉大花実モ大キナルモナリ又莧歴ト云ハ花黄色ナリ実ノ莢未ノヤウナル形ニシテナンテト莽莫ハ実莢形楔ノ如クニ角ナリ莧歴ハ葉ニモアリヌメナノ葉如ノ形ナリ莽莫ニモ毛ハエテ莧歴ハ　イヌナンテトシ月令ニ藜ト云ハ三物徳ニテ云ル物ニ一物ノ別ケニテ云ニハアラズ

胡蘿蔔　ニンジン　己ニ食用ニスル歳モノヒネリ根ニ黄白赤ノ三通リアリ

黄色ノ上品ナリ苗小サキ食用ニスルノ葉ニシテ小サキ長ク茎葉硬ク根ハ

夏ヨリ春ニ至ル　秋ヨリ

野胡蘿蔔　ヤブニンジン　名ノ通リニテ薮中ナドニ生ズルモナリ秋ヨリ

苗ノ生ズ冬ノ経テ春ニ九ト段々トウガ立ツリ苗長サ二三尺ニ九葉ハ胡蘿蔔

国立国会図書館　タイトル『大和本草紀聞』　請求記号 特1-2022
ガラス使用

三似り大ク毛葺アリ花ハ苧花ノ如シ花ハコトニ実生ス宍実立歩ナドアリ細長シ実熟シテ苗栽根ハ残ルモアリ

茼蒿

コユキノ　春菊ノ書キテ通名アリ京デ高ライギノトモ云京デ食用ニ好テセヌモアリ花戸ニキリアリ花ハ菊ニ似タモノアリ他国ニハ食用トスル花ハ單弁ノ菊ノ如キモノ大サ蓋ヨリ大ドアリ花ノ本黄ニシテ外ノ花ノ先キ白シテ外ニモ黄ナモアリ全ク黄ナモアリ葉ノ形ハ青蒿ノ木葉ノ如キモアリ花ハ春アルモノアリ

莞蒻

コレヲソ　コレデハ和名ニナシ李時珍ノ説ニ引テ云　水田線ノ云ハ　水田ノ畔ニ苅蒻ト云ヒ本名アリ食用ニスルモノニシテソノ形ハ蒟蒻ノ如シ細クキリメアリ水田線ト云ナリ

蠶桑

ケシ　花當四年ヨリ一重ニシテハ二年大ノ二年ハカリ千葉ノモハ下ニ大ナル葩四五有テ小ナル花ヲ集リテ生ス一葩ノモハ一四ノ花アリ千葉ハ二四ナドハモフモノナリ八月十五日ニソノ住ノ如シ本書ニ單葉ノ白花ニ実多シトイヘリ白花ニハカギラズコレリ單葉ナレバ色ハ何モ白ニテモケシボウズ大キリ故ニ実子ハナシ千葉ナレバ実子アリ千葉ナウズ小キリ故ニ実子ハナシ色ハヨラズ本書ニ千葉ノモラ農桑ト云ヒ本書ニ千葉ノモラ農桑花トイヒテコレ耶ソレヨリ別リ麗春花トイヒ苗ノ高サ一尺位ニナリテ花形ケシト同ニシテ小リ葩モ軟小ノ細皺アリ蠶桑モ麗春ノ花モ移シテ五七ハ花ノ付ガヨキモノナリ故ニ花暦百詠ニ千金不移花トモ名アリコレハ二品ノ物ニテ云ヘルナリ

本書ニ時珍ノ説ヲ引テ云　水田線ト云ハ　水田ノ畔ノ水田線ト云ナリ

蠶桑

ケシ　花當四年ヨリ一重ニシテハ二年大ノ二年ハカリ千葉ノモハ下ニ大ナル葩四五有テ小ナル花ヲ集リテ生ス一葩ノモハ一四ノ花アリ千葉ハ二四ナドハモフモノナリ八月十五日ニソノ住ノ如シ本書ニ單葉ノ白花ニ実多シトイヘリ白花ニハカギラズコレリ單葉ナレバ色ハ何モ白ニテモケシボウズ大キリ故ニ実子ハナシ千葉ナレバ実子アリ千葉ナウズ小キリ故ニ実子ハナシ色ハヨラズ本書ニ千葉ノモラ農桑ト云ヒ本書ニ千葉ノモラ農桑花トイヒテコレ耶ソレヨリ別リ麗春花トイヒ苗ノ高サ一尺位ニナリテ花形ケシト同ニシテ小リ葩モ軟小ノ細皺アリ蠶桑モ麗春ノ花モ移シテ五七ハ花ノ付ガヨキモノナリ故ニ花暦百詠ニ千金不移花トモ名アリコレハ二品ノ物ニテ云ヘルナリ

国立国会図書館　タイトル『大和本草紀聞』　請求記号 特1-2022
ガラス使用

和品

濱防風　　己ハ濱名石知海辺ニ沢山ナルモノヨリ外土ニ生ゼズモノ陸地ニ移セテ
雖モ初ヨリ甚園中ニ入ルコトヲ厭ヒ又ハコモアリ形前胡ノ如ク前胡ヨリ葉短ク厚キモノ
ヨリ春ノ中若葉ノ生食スベキ茎紫赤色ニシテ近年此根ノ防風ニ偽ルハ根ヨリ似ズ
モヨリ茉固ニ入アリ訛リテ根ニ疣アリコレナカレ防風ノ美ニ非ズ又根ニ赤ミモアル
モノヘ

芹　　セリ　　水芹トモテ水辺ニ生ズルモノヘコレヨリ園ニ植テ生ニ用ヒ
葉モヨリ形状知ルベキモノヨリ園ニ入ルヲ園セリトモ云本草但目ニ堂ノコトクナレリセリハ根
ジロ芹トモ云古名アリ根白ク茎ニ食スベヨリ本書ニ柳芹ノ条ニ水
芹一種ヨリ又紅毛芹トモ濱名不知番人食用ニ故ニ名ノ等前ノ方ニテノモノ多シトモ
近年京ニ来ルニテ偽テ廣東人参或ハ御種人参ナドトニ一向人参ニ非ズ茎大ク
高サ三四尺ニ及常セリトモ異ヨリ葉ニ當帰ノヤウナル葉ヲ換ヨリ中廣ニテ鋸歯際ノ
際緑色ヨリ葉胴毎枝多ク付ク花ハ前ノ如キヨリ実ヨリ結ハ根枯ルヨリ

此根ノ二年目位ニ堀リノ乾ズト人参ニ似ルモノヨリ又山芹トモ云ハ己ク多クアルモノヨリコ、
ニアルモ一種ノ山セリヨリ濱名ニ知ル赤味水中ニ生ズルモノニ同ク故ニ山セリトモ名ケリ

外

野蜀葵　　俗ニハナヨリ敗荒本草ヨリ出ル名ヲ故ニ外ニヲラヒテヨキヨリ
ミツバゼリノモト山谷ニ自然生アリコレヲ今ニ於テハ園ニ作ルモ東ヨリ辺ニ多クアリ野蜀葵ニ充ル
ハ訛リテニツバゼリニ濱名訛リ早芹一種ニ葉形前胡ノ実ノ如キ形ヨリ
三葉ヅヽ付キテ一葉ノ先ヨリテ又ソノヨリ岸アリコレモ後ニトウヒテ葉形カワルモアリ五ツニ
キレルモアルヨリ石竜芮トモ云ハ那ヨリコノ本書ニモ輯セリ石竜芮ト大キニ異テ葉
ハナヤ相似タリトモコレ悪レキヨリ一向相似ズ慶ハキモヨリ野蜀葵ノ敗荒ニ并ス

蘭　　アザミ　　蘭ヲハ惣名ヨリ大小分チアリ大蘭ヲハ山アザミトモヨリ又鬼
アザミトモヲハ飛廉ニ似テ約シ安ケモヨリヒレンガ鬼アザミトモヨリ茎ニ収ヒ三矢ハゾガ多ク有
ヨリコレニ刺ノケヨリ大蘭ヲハ山ノ谷ニ生ズ故ニコレヲ山アザミトモヨリ八月比ニ花開クヲ紫色

国立国会図書館　タイトル『大和本草紀聞』　請求記号 特1-2022
ガラス使用

細き花すくなし小蘭ともいふ　野生ザこともいふ　野生高クシテ莖頭ヨリ枝出
枝の先き毎ニ花一輪ヅヽ付ク花大キすり　倫ニ書ニのモノハ小蘭ノ方すり花ウス紫すり　今ノ花ダ
ニミウんモノ小蘭すり　本書ニ大蘭ハ葉編緻アリ小蘭　無緻トイフレデ分ハ悪シキ
すり　細目ニモ云ル尼悪シ大蘭ハ莖ニ白キ細ク白キ筋アリ　花ハ小蘭ヨリ大キ
キハ小蘭すりフレニテ分ルヨリ分ニハモノケリ　本書ニモ續斷ヲ大蘭すりトイヘ古人今況ヲ矣
セリ續斷ハ大蘭ト別ス然ニ尼唐ヨリ大蘭ヲ以テ續斷ニ偽リテ舶来スル大蘭ニ
似タ續斷一種アリ　ヒノ南續斷トイフ通志略ニノ名アリ
本書ニ續斷ハ葉似芎藭トモハ　シドリコソウノコトリ即チ續斷シ又云紅毛劍
ニハ今劍鮮アサニトイフ　葉ハ白ニアリ尊ク矢キすり二尺余ノ莖ニテ花モ大キすり漢名不知
蘭ノ一種美すり

苦芙　サワアサニトイフ悪シ　サワアザニトイフ漢名　雞頂草すり本草綱
苦芙ハ　ヒメアカモ　アブサモ　コレハ水辺ニアリ水中ニハナシ　小蘭ヨリ莖大キニテ九
本書ニ小蘭ヨリ獨小トイフハ訛リシ莖孔キヒ陵シ莖ノ下半リニ刺アリ外ハ刺ナシシメ
レモノニテ大ハモノすりフレモ秋ニ九ト莖立ニテ花付ク花ウス紫ニテ
ヒラ

牛莖方　今云牛ボウ　牛菜トイフハ訛ナリ
唐ニハ菜用ニテ食用ニ余リ用ヲ見エズ

馬歯莧　スベリヒユ　コレハ夏中多キモノニシテ一年立すり春遅ニ実生スルモノすりニテ
地ニ布ニ生ス莖長サ六七寸大キ丸キ莖すり互生ス葉ハ倒ノ如キ芝居ノ如ク芝居すり莖ニ互生ス葉ハ唇耳ノ如クシテ
厚キ葉光リアリ光リアリ故ニ唐ニモ水銀ガデルトイフ本草ニ云ヒコレハ偽リすり全ク別物ニ
水銀ハ出ヌトモ解毒セリスベリヒユハヨモニ採リテ置リキ枯レヌモノすり実ニ気ノ異ナルモノ
すり

蘆薈高　コレハヨメガヤナドヨメガハギトイヘハヨメナすりハギ云ル若キ芽ノうち芽高ニ

国立国会図書館　タイトル『大和本草紀聞』　請求記号 特1-2022
ガラス使用

亢ルハ非ナリヨメトハ雞児腸ト云救荒本草ニアリ蘆葉蒿ト云ハ和名キツネツカミト云モ
ノナリ本書ノ文誤但味帯麻トイヘリト云フデノ文ハキツ子アザミノコト云リ則チ廉蒿ト
誤ナリ又云ヨメガハギハ秋花ヲ開ク似野菊ト云ハ非リナリヨメガハギ即チ野ギクト云フ同物
ナリ漢名ニ野菊ト云別ナリコレハアブラギクト云ナリ和漢同名異物ナリ不可混

地膚　ハヽキヾ　コレハ多ク見モナリ一年立ナリ庭掃ニスルモノナリ庭掃帚ニヨク
似タリ葉中茶ニトリ食用ニス実ハ薬用ニスルナリ即地膚子ナリサラハ箒ニ作ル
本書ニ云南盡箒キト云ハ　トウハヽキヾ　朝センホウキヾ　コレハ本ヨリ枝多ク生ス葉モ多ク
付モノ葉多キ故ニ食用ヨキモノ茎ハ枯テヨワキ故ニ箒ニハ悪シヽ

鹹草　アレダ　コレハ今ノ八丈草ト云草ナリ本ハ八丈嶋ヨリ来ルモノナリ八丈嶋
ニハ疱瘡ナキ故ニウヱルト疱瘡ヲ除クト云俗説アリ又食用ニモスルモノ也本書ニ葉ハ前
胡防風ニ似タリト云コノ防風ト云ハ濱防風ノヿヲ云獨活羌活ノ形ニシテ大ニ光アリ葉色黄
色ヲ帯ルモノナリ秋ノ三葉長シテ九葉モ見ユ自然ト一ツノ草ニハレヨケノ見モノ也監麸子
ノ附録ニ見ル鹹草ニ充ツレ先ツ近キモノトコノ説ニ従フ可ナリ

蘘荷　メウガヽ　藪ノ中ナドニ自然アリヨク盛長スルモナリ陰地ガヨキナリ生
姜苗ニ似タリ根ニ花付ク其形鼓ノ様ニスル形ナリ其ノ上ニウス黄色ノ花咲クナリ其行
ノ手ノ形丸ウトリテ香濃物ナドニスルナリ秋花付クアリ莫付クアリ秋メウガト云ヒ夏メウガ
ト云ナリ

和品ウド　タヽハ漢名　土當帰ト云　本草獨活ニアリ宿根ノ塊リテ見ルヲ獨活トシ
若根ヲ羌活トシテ薬店ニウル本コレモ唐ヨリデ偽ルコナリ故ニ日本ニテモ混ヘリ偽ルナリ薬用
ニナラズ今ニテモウド若根ヲトリテウド羌活ト云テ見ナリ真ノ羌活ト薬店ニテ云ガ如シヽウ
ドノ根ナリ即獨活ノナリ京デハ根ハ不食茎葉前ニテハ食用ニスルナリ苦キモノナリ
本書ニ白茎長メ可食ト云ハ今料理ニ見ルウドメナヲ云タルモノナリ白茎ニテハナキモノナリ色

国立国会図書館　タイトル『大和本草紀聞』　請求記号　特1-2022
ガラス使用

紫赤色ナリコレヲ葉前ニテ作リシカヲ云ヒシガウドノコトナリ

蚕種

紅爪松　ヲラシダナ　コハ漢名ハ本草ニ云　牛肚菘ノコトリ紅実菘ト漢名ヲ
ニヾコハ葉大キヽ長サ二尺ホド中一尺五寸ホド右ヨキ葉ニテ白ラケタルモノヲ花ニアリ葉
牡丹似タリ全体葉形琵琶ノ形ニ似タリナヲ子ノ花スギラコノモノ花付ノヲリウス黄色
ニテ大キヽ黄ウスキヲリ花ハナヲ子花ノ如ク同ジダイト長シテ五寸高サ一丈ニモ丸ヲリ
冬モカレヌヲリ根細キモヲリ数根アリ本ヨリ枝ノ先キガ大リ丸モヲリ故ニ獨リ立ケテヲラ
ヌモノヲリ故ニ添柱ドヲスガ住ヨリ

和品
土筆　ツクシ　土筆ト書ハ和語ヨリ漢名ハ筆頭菜　肇慶府志ニアリ
コレガ花ヲリ暖地ニハ冬ヨリモ生ス本ノ茎ニテ即アリテコレヲハヤトヲヨリ苗長メ草ト丸
コレヲスギナトヲスギ大漢名　向荊ヨリ本草綱目ニアリ

外
水萵苣　整本草　カワヂサ　流水中ニ生ス水ノヲリニモアリテ二書ノ図悪シキヲリ
花ノ出ヅルガ異ヲリ茎大ケヲリテ高サ一尺余葉両対シテ掛葉ノ如キモノ又鱧腸ノカ
ザロウニ似テ小サキレコモアリ両対ヲリ葉ノ色ウス黄色ノ帯ルヲヲリ
味ハ苦ヲリヲヲリ時代用ヲ食ス故ニヲカワヂサトヲ陸地ニヲキモヲリ春葉間ニ抜ク
ニ穂ニテ九ニ寸ヲリ小サキ花ヲリ大サ一歩余アリ色ハ白ク又紫ヲリ甚ダ実付ノシ
本書ニ本草　水苣黄ト水萵苣ト別ヲリトシテコレヲ説非ヲリ救荒本草ニハ水萵苣
トヲリ同物ヲリ本綱ニ水苣黄即チカワヂサノコト同種ト

和品
ニヤリナ菜　苗ノ京ニモ出ヲリ今ハ処々ニテ有ベキトヲシ葉ハ大ニテモ本ト葉前ニ多キモノヲリ今
実植ヨリ三年目ニ茎二尺余ヲリテコレニ花付ノ枝ノ梢毎ニ花多ク付ノ花形ハ卵
薺菜ノ花ニ似タリ集生ス白キ小花ヲリコレヲ茶煮テ酒肴ニ好ヨシ根ヲトルハ二
年目ニ取ルヲリ丸レニテストヲヲ干ス故ニ切リテ乾スヲリ乾ク正白ヲリ茎ノ今酒肴

上云ハ皆コレナリ防風ノ葵ニ非ス防葵ノ葵ニテノアルベキモチリ
本書ニ本草時珍之説ニ引キテ石防風ナルカト云ニコノ説非ナリ石防風ハ別物ナリ

特1
2022

国立国会図書館　タイトル『大和本草紀聞』　請求記号 特1-2022
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『大和本草紀聞』　請求記号 特1-2022

ガラス使用